

学校保健情報の処理と活用研究委員会
報 告 書

財団法人 日本学校保健会

ま え が き

今日における都市化、情報化等の急激な社会の変化は、生活洋式や生活環境に大きく影響し、児童生徒の心身の健康問題が生じ、学校における健康教育の果たす役割は益々期待が寄せられています。

とりわけ保健室に集まる児童生徒の心身の健康に関する情報は多岐にわたり、そして複雑になってきたところであり、これらの情報の適切な処理と活用は、これからの学校保健活動の推進に重要な課題となっています。

保健室における学校保健情報の迅速な量的処理と質的な活用は、養護教諭の活動の幅を大きく広げると共に深まりのある仕事ができるといえます。

本委員会の調査研究は、保健情報の処理には様々ある中で特にパソコンに焦点を置き、その設置状況、活用状況、職務に関する負担感の様子、パソコンの活用による職務の変化等の実態調査を行い、現状及び課題の把握することとした。

この調査の結果を各都道府県において、これからの学校保健活動の推進に様々な形で活用されることを期待します。

平成 8 年 3 月

財団法人 日本学校保健会
会 長 村 瀬 敏 郎

目 次

【 委 員 会 の ね ら い 】	1
-------------------------	---

【 委 員 会 の 研 究 経 過 】	1
---------------------------	---

1. 平成5年度	1
----------------	---

2. 平成6年度	2
----------------	---

3. 平成7年度	2
----------------	---

【保健室におけるパソコン等の設置状況と活用に関する調査について】 ...	2
--------------------------------------	---

1. 調査目的	2
---------------	---

2. 調査方法	2
---------------	---

3. 調査結果	3
---------------	---

4. 考察	15
-------------	----

【 ま と め 】	17
-----------------	----

巻 末 資 料

1. 調査集計表	21
----------------	----

2. 保健室におけるパソコン等の設置状況と活用に関する調査	33
-------------------------------------	----

【 委 員 会 の ね ら い 】

近年、児童生徒の健康情報が多様化し、特に不登校、いじめなど心の健康に関する問題のある児童生徒が増加してきたことから、養護教諭はこれらの問題に対応するために多くの時間を必要としてきた。多様化した学校保健問題に対応するために学校保健情報をコンピュータで処理することは有意義なことと考える。

そのために、保健室におけるコンピュータの活用状況等を把握し、学校保健情報を効率よく処理し、事務処理の効率化・能率化を図り、健康教育及び教育活動に有効に活用していくための研究を行う。

【 委 員 会 の 研 究 経 過 】

1. 平成5年度

初年度は、本委員会事業のねらいについて共通理解を図るために、次のような事項について検討等を行った。

(1) 学校保健情報の特質

- ①児童生徒の身体に関する情報はほとんどすべて数値情報であり、疾病傷害に関する情報は文字情報が多いが、その種類は割合限られており、コード化が可能である。
- ②児童生徒の精神発達や精神的・心理的な問題・行動に関する情報は、主に文字情報であり文字情報としてデータベース化する事は可能であるが、コード化に工夫が必要なものもある。
- ③環境に関する情報は、いわゆる学校環境衛生に関する情報の他、教育活動に関する情報、学級内あるいは授業等における教師と児童生徒相互の人間関係に関する情報、地域特性に関する情報があり、これらはほとんどが数値情報やコード化しやすい文字情報が多いため、データベース化が可能である。
- ④児童生徒の情報は多くの教職員が共有し、教育活動に活用すべきものであるが、個人のプライバシー保護に配慮することが必要である。

(2) パソコンに関する実態調査の計画・立案と調査票の作成及び発送

2. 平成6年度

平成5年度に、回収した調査表について、調査結果の解析を行った。
調査結果の解析については、平成6年度は主として、各調査項目について、校種別に単純集計を行い、保健室におけるコンピュータ活用のために、その実態と課題をより明らかにするための解析方法について協議検討した。

3. 平成7年度

調査結果の解析をさらに深め、報告書を作成した。

【保健室におけるパソコン等の設置状況と活用に関する調査について】

1. 調査目的

この調査は、保健室におけるパソコンなどの設置状況及び活用の実態を明らかにし、今後の学校保健情報の効果的な処理と活用に向けての方策を検討するための資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査方法

(1) 調査対象

全国学校要覧より、全国の小学校の1/40、中学校の1/20、高等学校の1/10を無作為抽出し、それらの学校の養護教諭を調査対象とする。

(2) 調査時期と調査方法

調査時期：平成6年2月中旬

調査方法：調査票による郵送配布(3月中旬までに回収)

(3) 調査票回収数および回収率

小学校	452校	71.4%	中学校	375校	66.5%
高等学校	446校	68.4%	合計	1,273校	68.4%

(4) 調査内容

巻末の「保健室におけるパソコン等の設置状況と活用に関する調査」参照

(5) 集計に利用したソフトウェア

集計 HALBAU-4 (現在数学社)

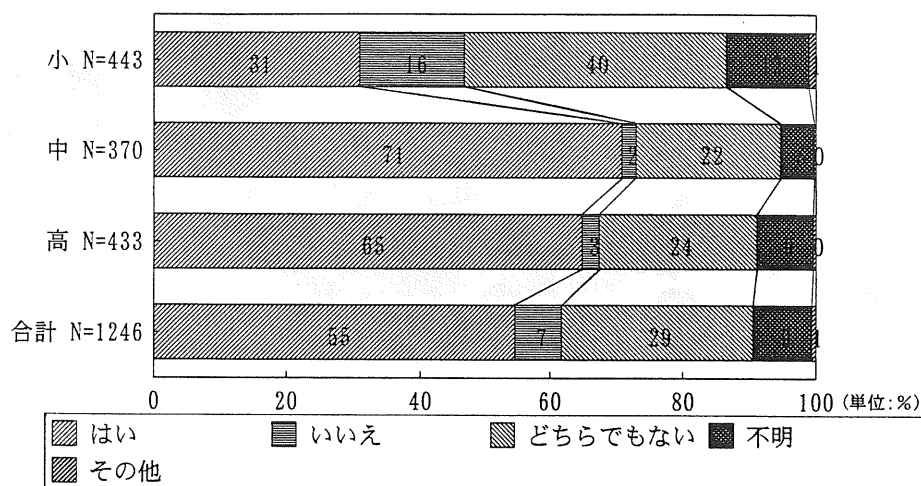
グラフ The CARD3+ GRAPH(ASCII)

3. 調査結果

(1) パソコン導入に関する学校の積極性について(Q1)

パソコン導入に関して学校が積極的かどうかの質問に「はい」の回答は、全体で54.6%であり、小学校は30.9%、中学校は70.8%、高等学校は64.9%であり、「いいえ」は全体で7.1%、小学校15.8%、中学校2.2%、高等学校2.5%であった。パソコンの導入について図1でもわかるように、中学校および高等学校では約7割の学校が積極的であるのに比べ小学校では約3割程度である。全体的にみるとパソコンの導入に学校が積極的な傾向を示していることがわかる。(図1)

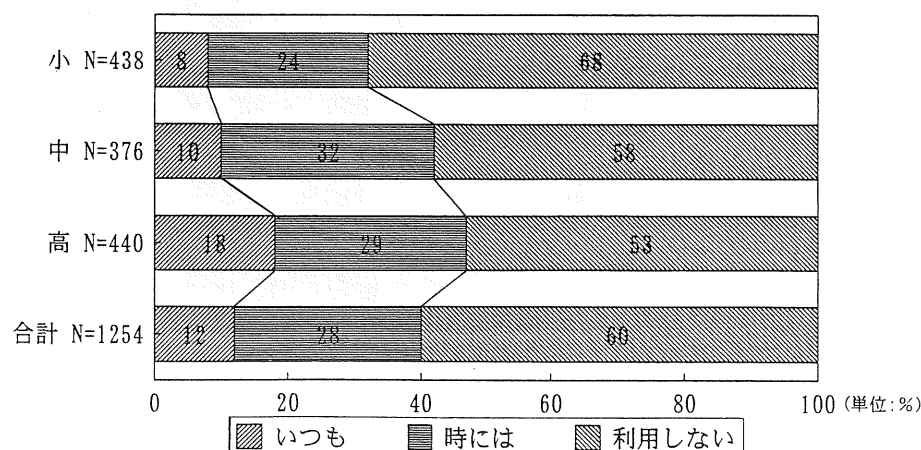
図1 パソコン導入に関する学校の積極性



(2) 保健室の仕事へのパソコン利用の状況(Q2)

保健室の仕事にパソコンを利用していますかについては、「いつも利用している」と答えたのは、全体では12.0%で、小学校7.8%、中学校9.6%、高等学校は18.4%であり、「時には利用する」と答えたのは、全体で28.1%、小、中、高校のそれぞれで、24.2%、32.2%、28.6%である。「利用していない」は、それぞれ68.0%、58.2%、53.0%となっている。「いつも」と、「時には」を合わせると、「利用している」が約4割あった。小、中、高校の順に増加を示し、小学校32.0%、中学校41.8%、高等学校47.0%が保健室の仕事にパソコンを利用している。(図2)

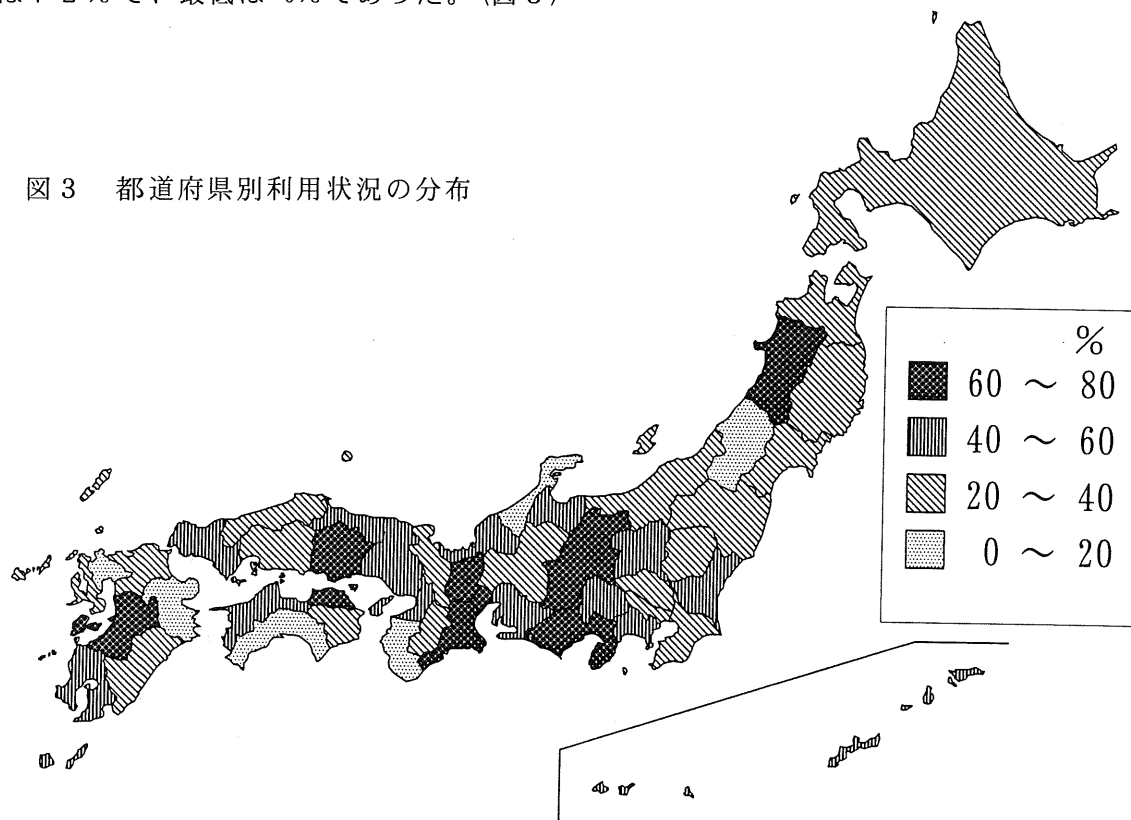
図2 保健室の仕事へのパソコン利用の状況



(3) 都道府県別利用状況(平成6年2月現在)

都道府県別パソコン利用者状況は、調査対象者に対する回収率県毎には集計していないが、パソコンを利用している養護教諭は全体の4割(41.7%)を占めている。これを都道府県別に見ると4割以上の利用率は25府県あり、4割未満が22都道府県であった。最高は72%で、最低は6%であった。(図3)

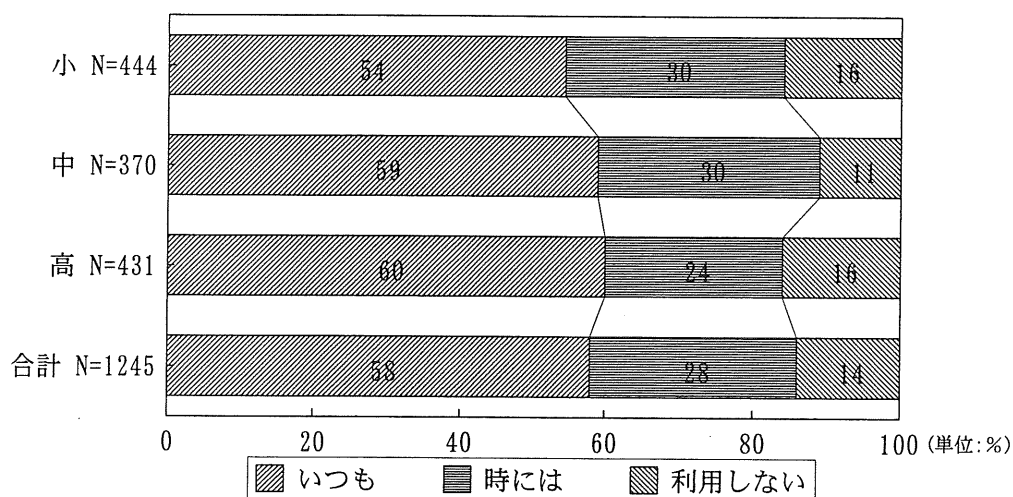
図3 都道府県別利用状況の分布



(4) 保健室の仕事へのワープロ利用の状況(Q3)

保健室の仕事にワープロを利用していますかについては、「いつも利用している」と答えたのは、全体で57.8%であり、小学校54.5%、中学校59.2%、高等学校59.9%であり、「時には利用する」は、全体で27.9%、小、中、高校のそれぞれで、29.5%、30.0%、24.4%であり、小、中、高校のいずれの学校とも約8割以上がワープロを利用しており、Q2のパソコンを大きく上回る利用状況がわかった。(図4)

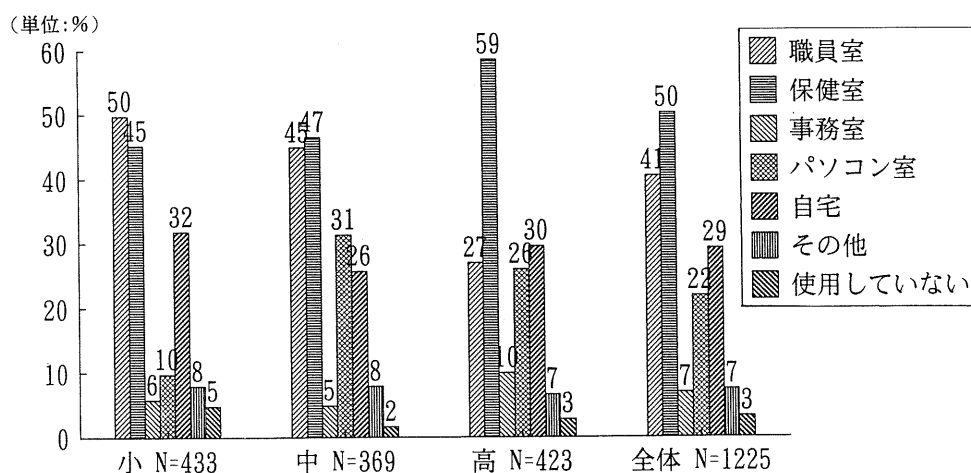
図4 保健室の仕事へのワープロ利用の状況



(5) パソコン・ワープロの設置場所(複数回答)(Q 4)

パソコン・ワープロの設置場所としては、小、中、高校の全体では、保健室が50.3%を占め、次いで職員室の40.5%、自宅29.2%、パソコン室21.9%となっており、事務室 6.9%、その他 7.4%である。保健室と職員室がパソコン、ワープロの主な設置場所となっていることがわかった。一方、校種別にみれば高等学校では保健室が58.6%と目立って高かった一方、職員室は27%と低かった。パソコン室への設置は中学校31.4%、高等学校26.0%であるのに対して、パソコン導入の低い小学校では9.7%と低い。(図5)

図5 パソコン・ワープロの設置場所

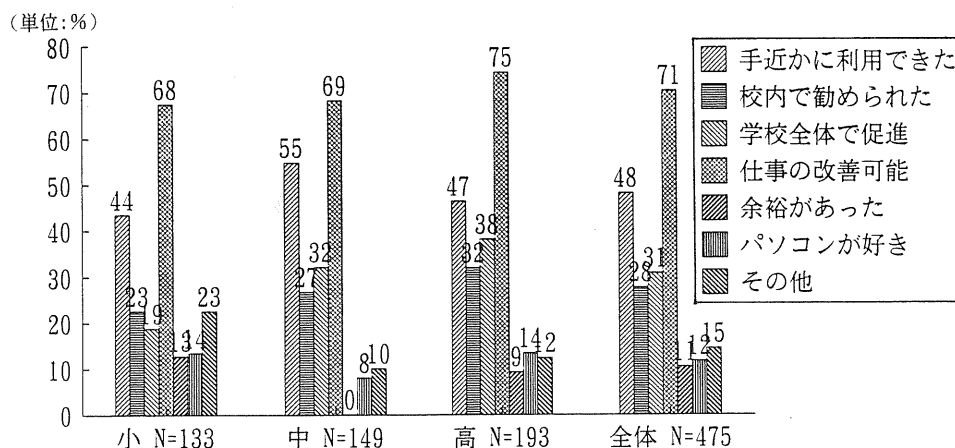


●以下のQ 5からQ 11は、パソコンを利用している者に対しての質問の集計である。

(6) パソコンを保健室の仕事に利用し始めた理由(Q 5)

パソコンを保健室の仕事に利用し始めた理由は、「パソコンを使って仕事の改善ができると思った」が最も多く、小学校67.7%、中学校68.5%、高等学校74.6%である。ついで、「手近かにパソコンが利用できた」が、それぞれ、小学校43.6%、中学校55.0%、高等学校46.6%となっている。パソコンの普及率の高い中学と高校では、小学校に比べ、「学校全体の促進」や「校内で勧められた」ことも理由にあげられている。(図6)

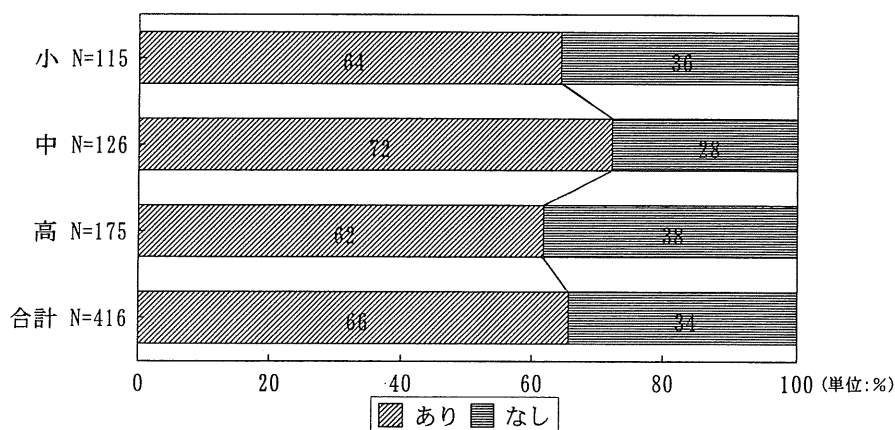
図6 パソコンを保健室の仕事に利用し始めた理由



(7) パソコンの機種とハードディスクの有無について (Q 6)

現在利用しているパソコンの機種については、メーカー名及び機種、ハードディスクの有無とその容量を調査したが、平成6年2月の調査時期で、回答者462人中、16ビット以下のパソコンが47.2%、32ビットのパソコン57.8%、不明18.8%であった。(複数回答)ハードディスクの有無については図7に示す様に全体の66%が備えていた。

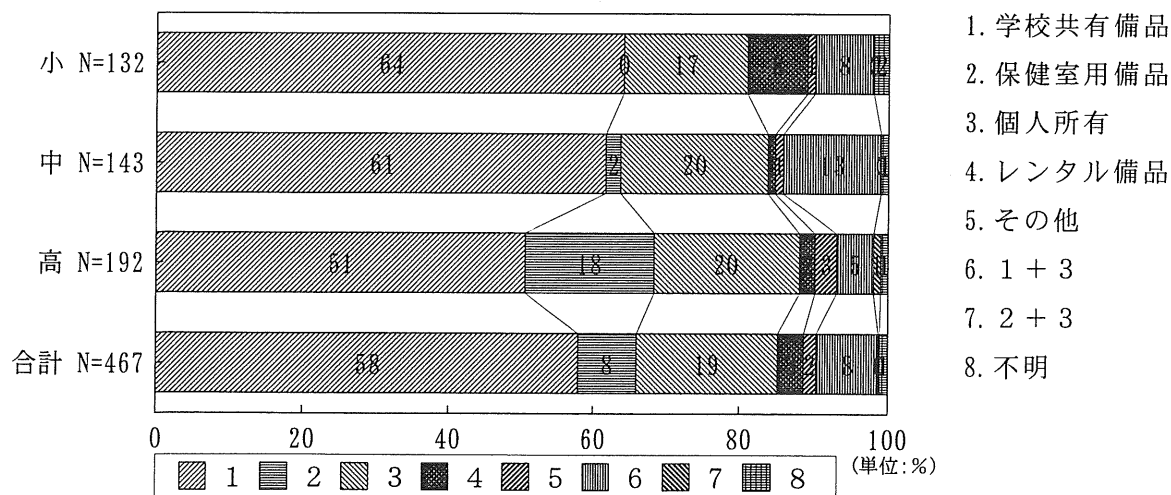
図7 ハードディスクの有無について



(8) 現在、使用しているパソコンの所有について (Q 7)

現在、使用しているパソコンの所有については、学校の共有備品が57.8%と最も多く、次が個人所有19.3%であった。保健室備品との回答は8.1%であり、レンタル備品3.4%、その他1.7%、と極めて僅かである。校種別では、学校共有備品は小学校64.4%、中学校60.8%、高等学校51.0%となっている。個人所有については小、中、高校間にあまり差はなく、それぞれ17.4%、20.3%、19.8%であった。保健室備品は、小学校が0%、中学校2.1%であるのに対して、高等学校18.2%である。(図8)

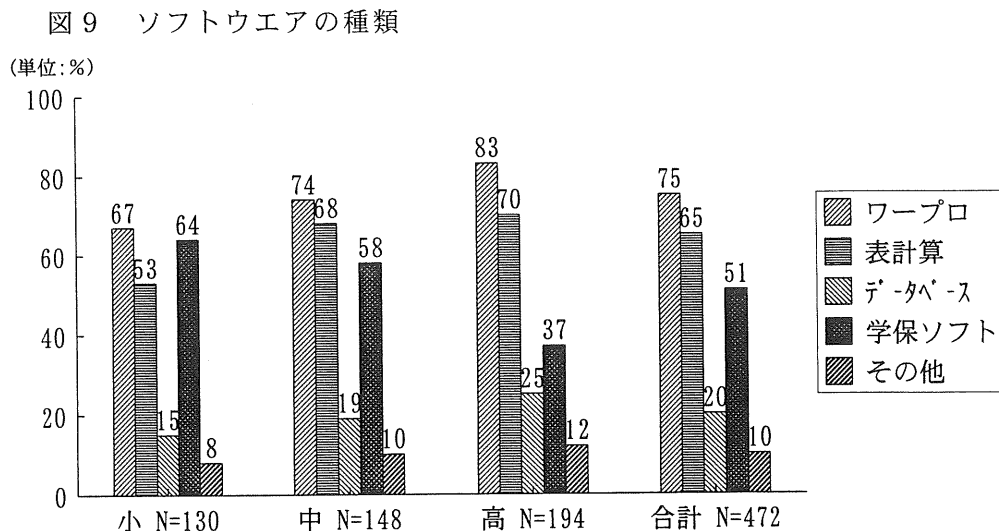
図8 使用しているパソコンの所有状況



(9) 主に利用しているソフトウェア(複数回答)(Q8)

最も多かったのはワープロソフト(75.4%)、次いで表計算ソフト(64.6%)、学校保健ソフト(50.8%)であり、データベースソフト(20.1%)は少なく、言語ソフト(13.6%)、ユーティリティソフト(10.6%)は、さらに少なくなっている。

校種別にみれば、ワープロソフトは高等学校の82.5%に対し、中学校73.6%、小学校66.9%となっている。また、表計算ソフトでも同様に高等学校70.1%、中学校67.6%、小学校53.1%となっている。学校保健ソフトでは小学校が63.8%と多く、次いで中学校58.1%、高等学校36.6%となっている。(図9)



(10) パソコンの利用分野(Q9)

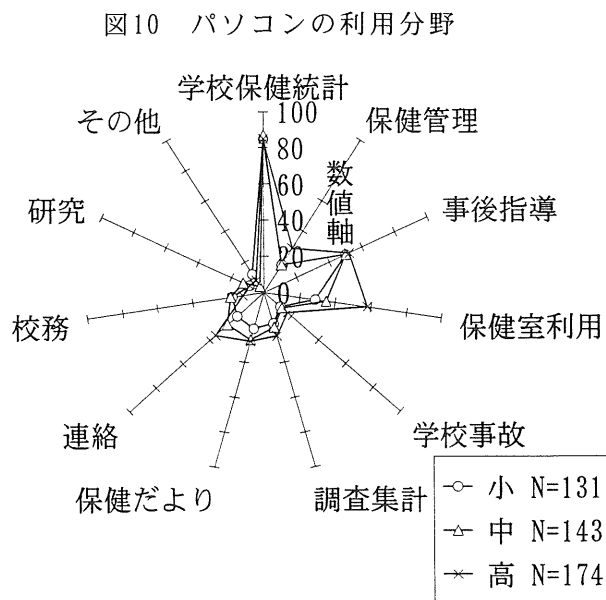
パソコンの利用分野は、全体としては、利用度の高い順に、①学校保健統計(85.7%)、②健康診断事後指導(50.7%)、③保健室利用状況(42.0%)、④担任及び教職員への連絡(28.3%)、⑤保健便り(25.7%)となっているが、校種別によって順位や利用分野の割合は若干異なる。

小学校では、①学校保健統計(84.7%)、②健康診断事後指導(49.6%)、③保健室利用状況(29%)、④保健便り(21.4%)、⑤担任・教職員への連絡(19.8%)である。

中学校は①学校保健統計(87.4%)、②健康診断事後指導(49.7%)、③保健室利用状況(35.0%)、④保健便り・担任及び教職員への連絡(27.3%)である。

高等学校では①学校保健統計(85.1%)、②保健室利用状況(57.5%)、③健康診断事後指導(52.3%)、④担任及び教職員への連絡(35.6%)、⑤健康情報の管理(保健管理)(29.3%)となっている。

(図10)

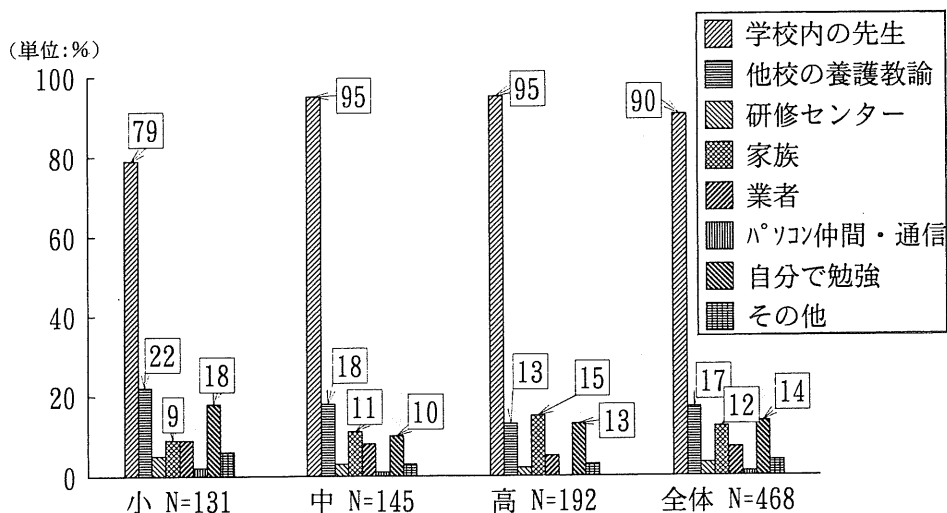


(1 1) パソコン利用に際して困ったことが起こった時の相談先 (Q 1 0)

パソコン利用に際して困ったことが起こった時には主に誰に相談しているかについては、全体としては、頻度の高い順に、①学校内の先生 (90.4%)、②他校の養護教諭 (17.1%)、③自分で勉強する (13.5%) となっている。

校種別では、①学校内の先生が、小、中、高校の順にそれぞれ、78.6%、95.2%、94.8%、②自分で勉強するが18.3%、10.3%、12.5%となっている。(図11)

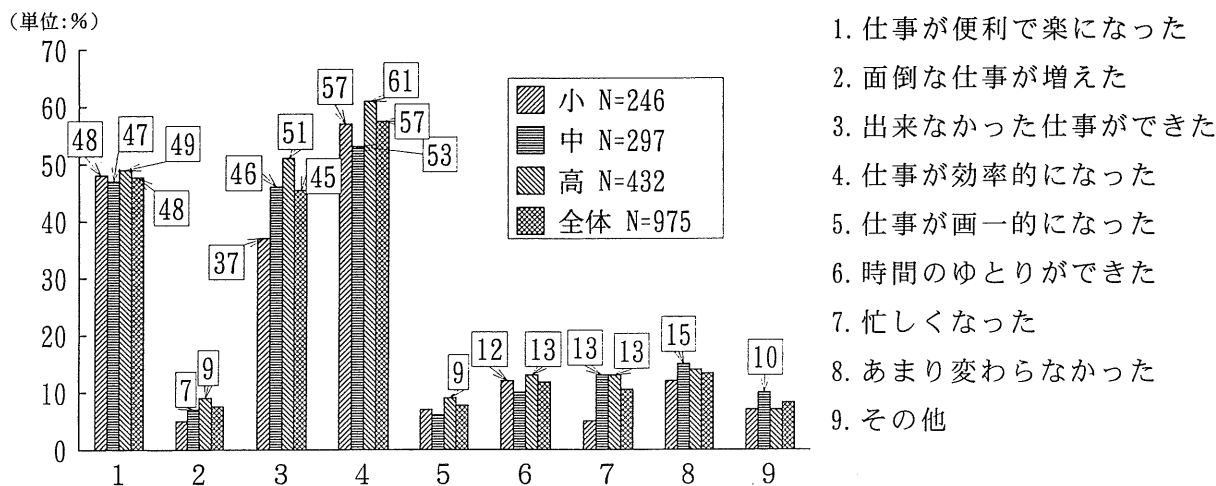
図11 パソコン利用に際して困ったことが起こった時の相談先



(1 2) パソコン利用による職務に対する感じ方の変化 (Q 1 1)

パソコンを利用することにより職務がどう変化したかについては、全体としては、頻度の高い順に、①仕事が効率的になった (57.4%)、②仕事が便利で楽になった (47.7%)、③これまで出来なかった仕事ができるようになった (45.4%)、とプラス面が上位を占め、次いで④あまり変わらなかった (13.3%)、⑤時間のゆとりでできた (11.8%) であり、マイナス面は、⑥忙しくなった (10.5%)、⑦仕事が画一的になった (7.7%)、⑧めんどろな仕事が増えた (7.5%) と低かった。

図12 パソコン利用による職務に対する感じ方の変化



校種別では、上位の順位が多少異なるが、プラス面で小学校では①効率的(56.9%)、②便利で楽(47.7%)、③これまで出来なかった仕事が出来ようになった(36.9%)で、中学校では①効率的(52.8%)、②便利で楽(46.5%)、③これまで出来なかった仕事が出来ようになった(45.8%)であるのに対して、高校では①効率的(61.3%)、②これまで出来なかった仕事が出来ようになった(50.8%)、③便利で楽になった(48.7%)となっている。いずれも、パソコンを利用することによる職務の変化のマイナス面を指摘するものの比率は低かった。(図12)

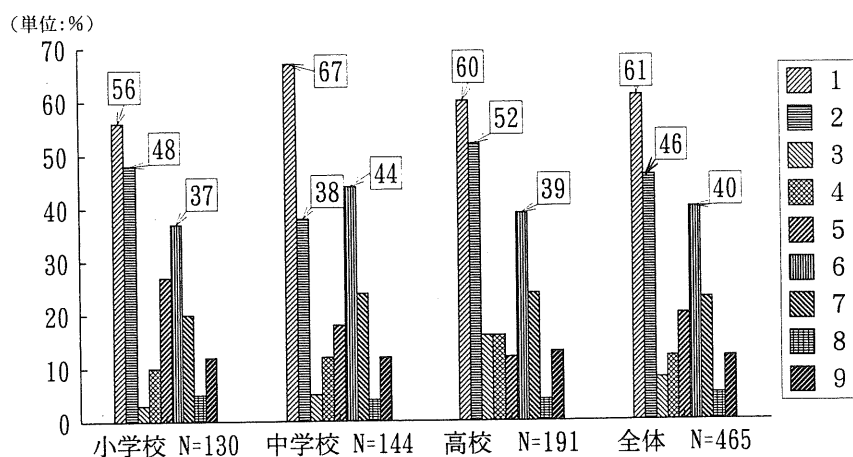
●以下の13、14、15は、「パソコンを利用していない者」に対しての質問である。

(13) パソコンを利用していない理由について(3つ選択)(Q12)

パソコンを利用していない理由について、全体としては、頻度の高い順に、①パソコンの使い方がわからない(60.7%)、②手近かにパソコンがない(46.1%)、③パソコンを利用する余裕がない(39.6%)となっている。

校種別では、小学校と高等学校ではそれぞれ比率は異なるが順序は同じで、小学校は①が56.1%、②が47.6%、③36.7%であり、高校は①が59.9%、②が52.4%、③38.8%となっているが、中学校は①の項目は同じで67.6%であるのに対して、②は余裕がない44.4%、③手近かにない37.5%となっている。(図13)

図13 パソコンを利用していない理由

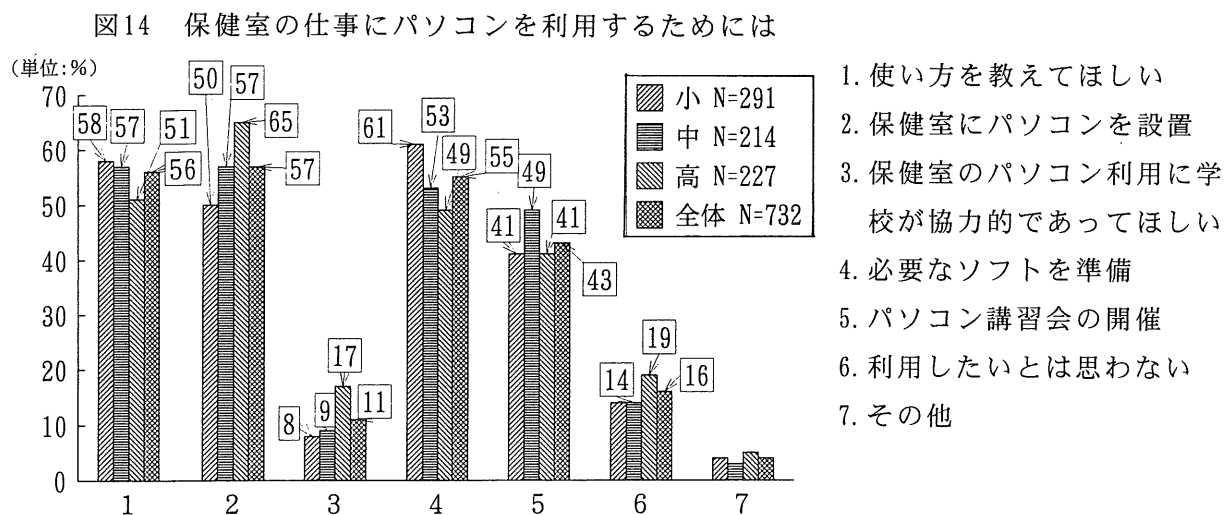


1. パソコンの使い方がわからない
2. 手近かにパソコンがない
3. 保健室でのパソコン利用に学校が協力的でない
4. パソコンを使っても仕事が改善されるとは思わない
5. 児童・生徒数が少ない。パソコンの利用メリットが少ない
6. パソコンを利用する余裕がない
7. 機械類苦手(利用したくない)
8. 以前利用していたが、今はやめた
9. その他

(1 4) 保健室の仕事にパソコンを利用するためにどうすればよいか (3 つ選択) (Q 1 3)

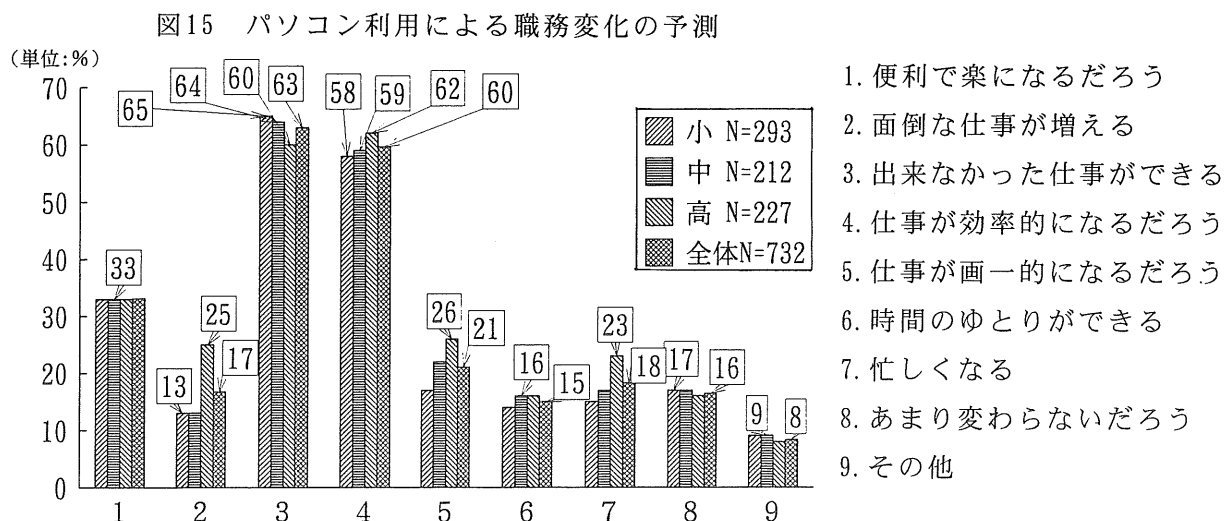
これは、パソコンを利用していない者への質問項目であるが、保健室の仕事にパソコンを利用するためにはどうすればよいかについて、全体としては、頻度の高い順に、①保健室にパソコンを設置して欲しい (56.8%)、②パソコンの使い方を教えて欲しい (55.7%)、③必要なソフトを準備して欲しい (54.9%)、④パソコンの講習会を開いて欲しい (43.2%) となっている。

校種別では、順序がかなり異なり、小学校は①ソフトを準備 (61.2%)、②使い方 (58.4%)、③パソコン設置 (50.2%)、中学校は①使い方・パソコン設置 (57.0%)、③ソフト準備 (53.3%)、高校では①パソコン設置 (65.2%)、②使い方 (51.1%)、③ソフト準備 (48.5%) となっている。(図14)



(1 5) 保健室へのパソコン導入による職務変化の予測 (Q 1 4)

パソコンを利用していない者に対して、今後保健室へのパソコン導入によって、職務がどのように変化するだろうかの予測を質問したものである。小、中、高全体としては、頻度の高い順に、①これまで出来なかった仕事ができるようになるだろう (63.0%)、②仕事が効率的になるだろう (59.6%)、③仕事が便利になるだろう (33.1%) となっており、小、中、高校の学校種別による差はなく、いずれも、パソコンへのプラス面での期待が高く、マイナス面は低かった。(図15)



●以下の質問項目は全員に実施した。

(16) パソコンスクールや講習会での学習経験(3つまで)(Q15)

パソコンスクールや講習会での学習経験については、全体としては、最も回答の多かったのは、①同僚、友人に教わった(40.1%)②養護教諭の実技研修(34.5%)、③スクール、講習会での勉強(33.6%)、④パソコンの勉強などしたことがない(21.4%)、⑤自分で本を買って勉強した(13.6%)、⑥学生時代に勉強した(8.8%)であった。「同僚、友人に教わった」が最も多いのは、日常的にパソコンを利用しやすい条件の一つといえるが、積極的にパソコンスクールや講習会、養護教諭実技研修などから学ぶ者も多い。

(表1)

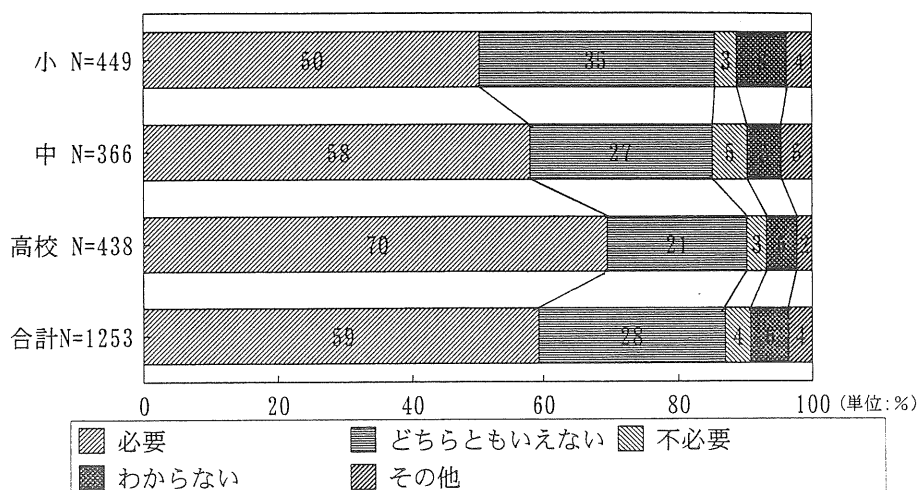
表1 Q15：パソコンスクールや講習会などでの勉強(3つ)

	小(%)	中(%)	高(%)	合計(%)
1. スクールや講習会など	163(36.7)	127(34.3)	131(29.9)	421(33.6)
2. 養護教諭の実技研修	145(32.7)	128(34.6)	159(36.3)	432(34.5)
3. 同僚、友人から	142(32.0)	161(43.5)	199(45.4)	502(40.1)
4. 自分で本を買って	42(9.5)	33(8.9)	95(21.7)	170(13.6)
5. 学生時代	47(10.6)	33(8.9)	30(6.8)	110(8.8)
6. パソコンの勉強をしたことなし	109(24.5)	70(18.9)	89(20.3)	268(21.4)
7. その他	22(5.0)	21(5.7)	20(4.6)	63(5.0)
合 計	670(150.9)	573(154.9)	723(165.1)	1966(157.0)
標 本 数	444	370	438	1252

(17) 保健室でのパソコンの必要性(Q16)

保健室でのパソコンの必要性については、全体として、①必要と思う(59.3%)、②どちらともいえない(27.6%)、③わからない(5.8%)で、④必要と思わない(3.7%)は非常に少なかった。学校種別では小、中、高校の順に、必要と思うが50.2%、57.9%、69.6%となっており、どちらともいえないがそれぞれ34.9%、27.0%、20.5%となっている。(図16)

図16 保健室でのパソコンの必要性



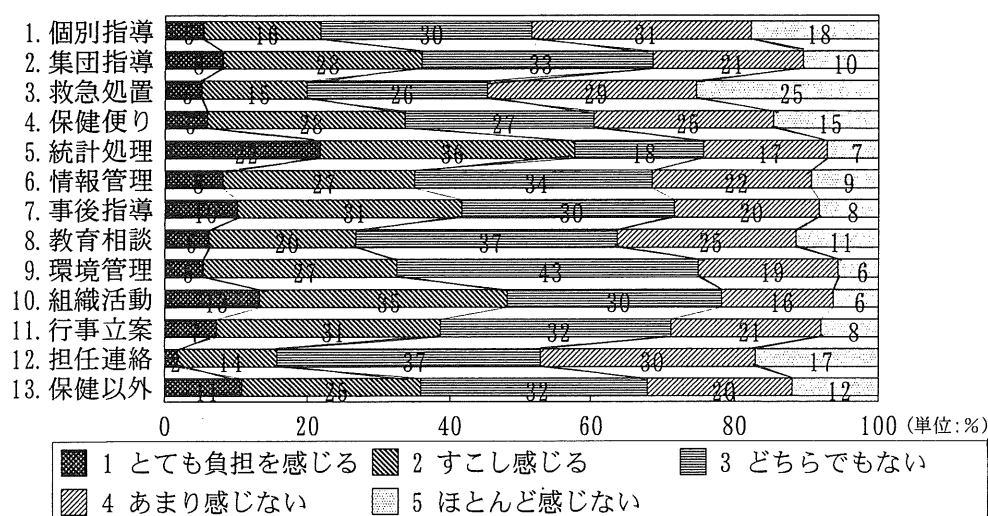
(18) 職務における負担感について(Q17)

養護教諭の職務を13に分類し、それぞれについての負担感を「とても感じる」から「ほとんど感じない」までの5段階で回答を求めた。グラフの左側の「1 とても感じる」「2 すこし感じる」を「▲負担感あり」とし、グラフの右側の「4 負担感をあまり感じない」「5 ほとんど感じない」を「▽負担感なし」として両者を比較すると、「▲負担感あり」では、各種の統計処理が57.5%と高く、次いで、保健委員会など組織活動が48.0%、健康診断事後指導(41.4%)、保健行事の計画・立案が(38.4%)、保健以外の校務分掌(36.1%)の順に高く、「▲負担感あり」が比較的低いものは、担任の連絡15.7%、救急処置(19.9%)、個別保健・安全指導(21.6%)である。

反対に「▽負担感なし」の回答が高いのは、救急処置(54.7%)、個別保健・安全指導(48.4%)、担任の連絡(47.2%)、保健便り(39.8%)などである。(図17)

「▲負担感あり」が高い項目には、パソコンの利用によって改善できるものが多い。

図17 職務における負担感について



(19) 現在行っている仕事以上に取り組まなければならないと考えている仕事について

「ある」と答えた者は、小学校38.1%、中学校44.9%、高等学校50.9%であり、主な内容は次の通りであった。

- ①健康教育に関するもの…………… 18件
- ②相談活動に関するもの…………… 49件
- ③保健指導に関するもの…………… 118件
- ④保健安全管理に関するもの…………… 26件
- ⑤研修および研究会に関するもの… 31件
- ⑥情報処理に関するもの…………… 63件

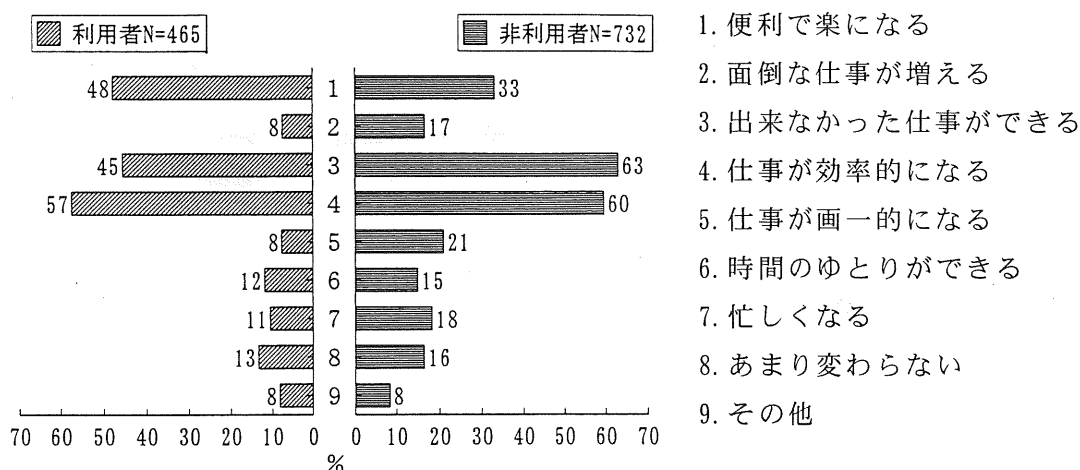
養護教諭が取り組まなければならないと考えでいる仕事は、学校の状況に応じたものが、あげられていた。これらは、現在行っている学校保健活動の中でコンピュータをうまく活用する事で現在の仕事の能率化と簡素化が図られる。その結果、さらに取り組みたい仕事の充実が期待できる。

●以下は、パソコンの利用者と非利用者を比較検討した。

(20) パソコンを利用することにより職務がどう変化するかについて(Q11とQ14)

パソコンを「いつも利用している」と「時には利用する」を利用者としQ11で、パソコンを利用することにより職務がどう変化したかについて、非利用者にはQ11に対応する質問内容の予測質問Q14の結果をすでに報告したが、ここでは両者を比較検討した。パソコン利用者、非利用者共に、パソコンを利用することにより①仕事が効率的、②便利で楽、③これまでできなかった仕事ができる等の、パソコン利用に対するプラス面での期待が高く、マイナス面は低かった。(図18)

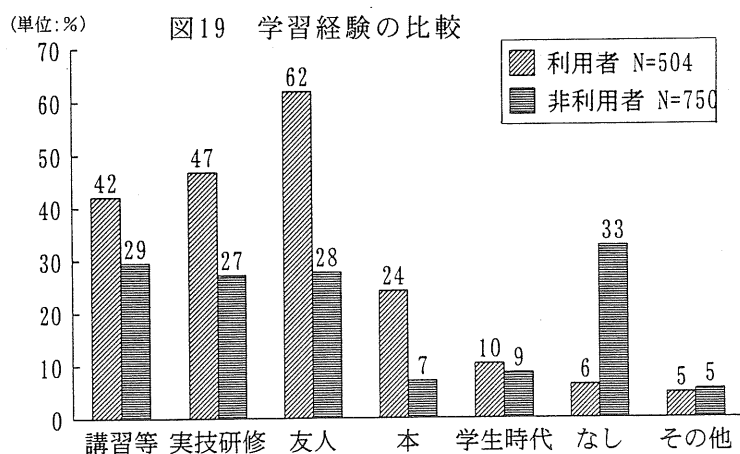
図18 職務の変化とパソコン利用・非利用者の比較



(21) パソコンスクールや講習会での学習経験との比較(Q2とQ15)

パソコンスクールや講習会での学習経験については、上記(20)と同様、利用者と、非利用者に対して比較検討した。①身近な同僚友人から教わるでは、利用者61.9%、非利用者27.7%、②養護教諭実技研修会は、利用者46.8%、非利用者27.2%③本は、利用者24.2%、非利用者7.1%、④パソコンスクールや講習会は、利用者42.1%、非利用者29.4%とパソコン利用者に高く有意の差があった。

「学生時代に勉強した」については利用者10.3%、非利用者8.5%で両者に差がなかった。パソコンの学習は、学生時代に経験しても、卒後教育や日常パソコンを利用する中で、身近な同僚や友人による場合が多いことがわかった。「学習経験なし」は、利用者6.3%、非利用者32.6%と差があるが、非利用者でも約3分の2はパソコンに関する学習経験があり、パソコン利用への関心をもっているといえる。(図19)

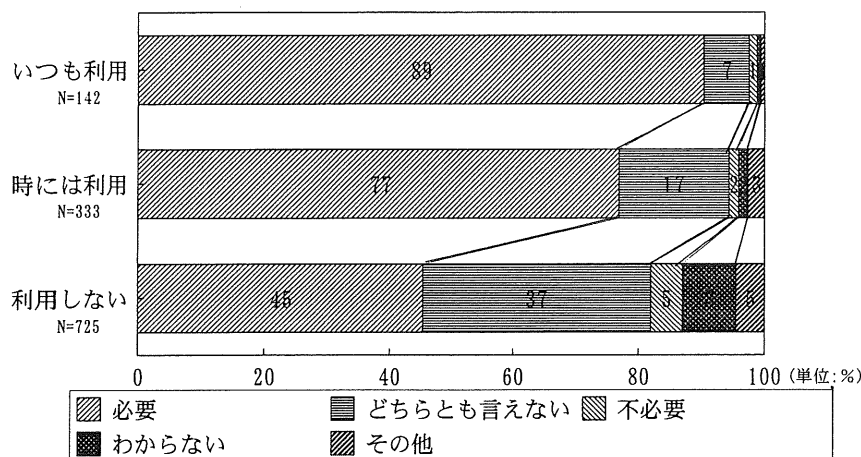


(2 2) 保健室へのパソコンの必要性の比較 (Q 2 と Q 1 6)

保健室のパソコンの必要性について、「いつも利用している者」と「時には利用」と「利用していない者」の比較では、保健室にパソコンが必要と思っている者は、いつも利用している (89.4%)、時には利用 (76.9%) で、利用していない者 (45.4%) であった。利用している者はその必要性が非常に高く、利用していない者でも約半数が必要と感じている。

(図20)

図20 保健室へのパソコンの必要性の比較



(2 3) 職務における負担感の比較 (Q 2 と Q 1 7)

養護教諭の職務の負担感を (2 0), (2 1) と同様に、パソコンの「利用者」と「非利用者」に分けて比較検討した。

①「▲負担感あり」群で利用者と非利用者に差があったものは

5. 各種の統計処理：利用者54.3%、非利用者60.0%

6. 健康情報 (疾病異常等) の管理：利用者31.6%、非利用者37.3%

7. 健康診断事後指導：利用者37.4%、非利用者44.6% で、非利用者が利用者より負担を感じていることがわかった。

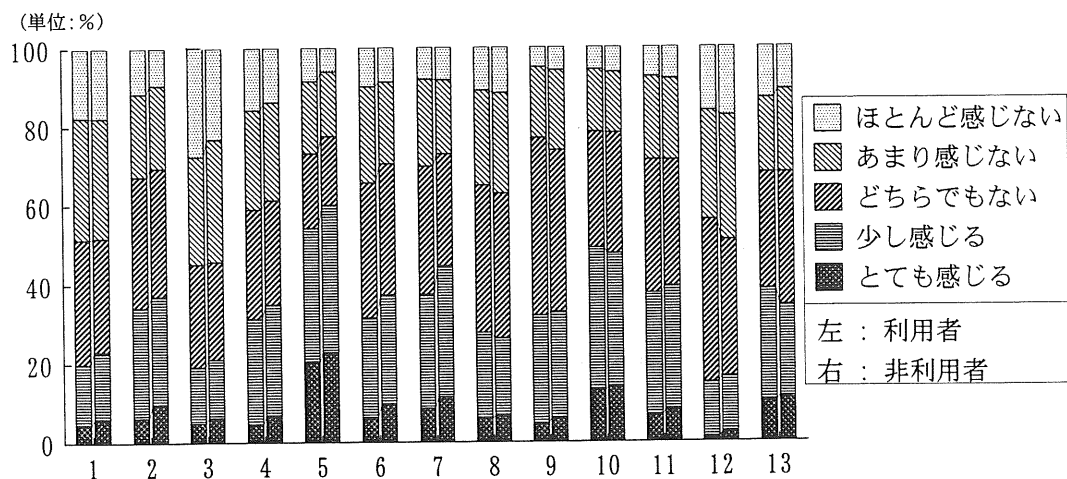
②「▽負担感なし」群で利用者と非利用者に差があったものは

5. 各種の統計処理：利用者26.8%、非利用者22.5%

12. 担任の連絡：利用者44.0%、非利用者49.1% で非利用者が負担感を感じない傾向にあった。

以上のことから、5. 各種の統計処理、6. 健康情報 (疾病異常等) の管理、7. 健康診断事後指導などの職務においては、パソコンの利用が有効であり、パソコンを利用しているものの負担感は少ない。また、その他の職務については、パソコンの利用による負担感の多い、少ないにあまり関係がないことがわかった。(図21は次頁)

図21 職務における負担感の比較



- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 個別保健・安全指導 | 8. 保健的教育相談 |
| 2. 集団保健・安全指導 | 9. 環境衛生管理 |
| 3. 救急処置 | 10. 保健委員会などの組織活動 |
| 4. 保健便り作成 | 11. 保健行事の計画・立案 |
| 5. 各種の統計処理 | 12. 担任連絡 |
| 6. 健康情報(疾病異常等)の管理 | 13. 保健以外校務事務 |
| 7. 健康診断事後指導 | |

4. 考察

(1) パソコン・ワープロの設置状況

1) パソコンの設置状況

パソコンの導入に学校が積極的な傾向を示し、保健室と職員室が主な設置場所となっているが、保健室備品として設置している割合は高等学校が小・中学校より高かった。

今後、学校教育におけるコンピュータの導入が推進されるにつれ、保健室への設置率も伸びてくるとと思われる。

2) パソコン・ワープロの利用状況

都道府県によるばらつきはあるが約4割の養護教諭が、保健室の仕事にパソコンを利用し、その内、約7割にハードディスクの装備がある。

ワープロの利用者はさらに高く、小・中・高校とも8割以上の養護教諭が利用している。

この結果から、すでにワープロ使用は一般化しており、このことから、パソコンを導入するに当たっての抵抗感はないと思われる。また、学校保健分野でのコンピュータ活用は、これからという状況であり、活用方法の研究・検討が早急に進むことが望まれるところである。

3) パソコンの利用分野

利用率が高い仕事は、①学校保健統計、②健康診断事後指導、③保健室利用状況、④学級担任・ホームルーム担任及び教職員への連絡、⑤保健だより、の順であり、広範囲に活用されている。

利用しているソフトウェアは、ワープロソフト、学校保健ソフトの順に多く使われているが、パソコンの活用範囲は、データベースソフトまで操作できる者は少なく、ワープロソフトの活用程度にとどまっている者も多いため、学校保健業務ソフトなどの使い易いものから手がけていくことが利用されやすい方法と思われる。

(2) 学校保健情報処理にコンピュータ利用の推進について

1) コンピュータを利用することのプラス面

パソコンを利用により養護教諭の職務の変化は、①仕事が効率的になった、②仕事が便利で楽になった、③これまでできなかった仕事ができるようになった、という意見が多く、仕事の効率化と平行して職務内容の充実が図られている様子が伺える。

職務に対する負担感で「負担感の高いもの」は、①各種の保健統計、②保健委員会などの組織活動、③健康診断事後指導、の順で高かったが、利用者と非利用者とを比較してみると、パソコンをいつも利用している者の負担感は非常に少なかった。「統計処理」「健康診断事後指導」などのコンピュータの利用率は高く、パソコンを利用することによって職務の負担感が軽減している。また、「救急処置」や「個別保健・安全指導」「保健便り」などは、負担を感じない傾向が強く、コンピュータの利用とはあまり関連がなかった。

2) コンピュータ利用の推進について

パソコンを利用していない理由は、①パソコンの使い方がわからない、②手近にパソコンがない、③パソコンを利用する余裕がない、という理由が多かった。「パソコンを利用する余裕がない」では、多様化する養護教諭の職務の多忙さが推察されるが、パソコンを利用することにより効率化を図り、より良い教育活動を推進することが望まれる。

パソコンを利用するためには、①保健室にパソコンの設置をしてほしい、②パソコンの使い方を教えてほしい、③必要なソフトウェアの準備をしてほしい、④パソコンの講習会を開いてほしい、という意見が多く、条件が整うことによって利用者は、増えると推測される。

非利用者がパソコンを利用することで職務がどう変化するかについては、①これまでできなかった仕事ができるようになるだろう、②仕事が効率的になるだろう、③仕事が便利になるだろう、と予測しており、プラス面の期待が高かった。コンピュータの導入を進めていくうえで、否定的ではなく、今まで利用していない者でも条件が整うことによって、抵抗なく受け入れられる、と思われる。

保健室へのパソコンの必要性については、非利用者でも、パソコンが必要と感じており、パソコンによる職務改善の期待が高い。

この調査研究により、学校におけるコンピュータの設置状況及び活用方法等について、明らかにすることができたとともに、学校保健情報処理にコンピュータ利用が有効であるというデ

一タが得られたことは、大きな成果であった。

【 ま と め 】

1. この委員会は、情報化社会が進展する中、学校教育における学校保健情報処理を効果的に行うための方策を見いだすために設置され、学校保健情報処理のコンピュータ利用の現状等を把握するため、全国の養護教諭を対象としてアンケートを行い、概ね下記のような結果を得た。

- (1) 学校保健情報処理コンピュータを利用することによって、全般的に仕事が効率的になり、今までできなかった仕事ができるようになった等、コンピュータ利用は養護教諭の職務の改善及び充実につながっている。
- (2) 保健室の仕事の中で、「統計処理」、「健康診断事後指導」の順で利用率が高く、また、非利用者より利用者のほうが、これらの仕事の負担感が少ない。
- (3) 保健室の仕事にコンピュータを利用することについては、利用者及び非利用者とも肯定的な意見が多く、非利用者でも省力化及び職務の充実を図るために、コンピュータ利用が有効と考えられている。

2. これらの成果を踏まえて、今後、学校保健情報の効果的な処理と活用を推進していくために、下記ような方策の推進が望まれる。

- (1) 学校保健情報の効果的な処理と活用を推進していくために、保健室にコンピュータを設置する。
- (2) 学校保健情報の効果的な活用の方法について研究、検討を行い、民間の機関などの協力を得て、わかりやすいマニュアルを作成するとともに、使いやすい良質のソフトウェアの開発をする。
- (3) コンピュータが広く利用されるために、コンピュータの基本的知識や利用方法等の習得が必要であり、コンピュータ研修の機会を活用して、さらにその充実を図る。

3. 「保健室におけるパソコン等の実態調査」実施から約3年が経過し、急速なコンピュータ技術の進歩と普及により、利用者の拡大が図られていること、学校での情報教育の進展等、マルチメディア時代に即した情報化社会を迎え、現在の利用率は、調査時点より伸びていることが予測される。

今後は、「エイズ教育情報ネットワーク」、「いじめ相談ネットワーク」事業の整備が進む中で、保健室が保健情報の中心となり、その役割を果たすことがますます期待されるところである。

巻 末 資 料

1. 調査集計表 21頁 ～ 32頁
(本調査の集計は、HALBAU-4を利用した)
2. 保健室におけるパソコン等の設置状況と活用に関する調査用紙
33頁～38頁

表1 Q1:あなたの学校は、パソコンの導入に積極的ですか。

	小(%)	中(%)	高(%)	合計(%)
1.	137(30.9)	262(70.8)	281(64.9)	680(54.6)
2.	70(15.8)	8(2.2)	11(2.5)	89(7.1)
3.	176(39.7)	80(21.6)	102(23.6)	358(28.7)
4.	55(12.4)	19(5.1)	37(8.5)	111(8.9)
5.	5(1.1)	1(0.3)	2(0.5)	8(0.6)
合計	443(100.0)	370(100.0)	433(100.0)	1246(100.0)

カイ2乗値(自由度) 187.84664(8) P = 0.000000

表2 Q1-1:学校種別パソコンの利用台数

変数名	標本数	平均値	分散	標準偏差	変動係数
1. 小学校	390	3.900	60.736	7.793	199.829
2. 中学校	318	21.811	143.059	11.961	54.837
3. 高等学校	354	45.605	2001.386	44.737	98.097
全体	1062	23.165	1036.957	32.202	139.012
	総和	最小値	最大値	歪度	尖度
1. 小学校	1521	0.000	100.000	6.067	60.277
2. 中学校	6936	0.000	60.000	0.435	0.229
3. 高等学校	16144	0.000	450.000	3.458	21.189
全体	24601	0.000	450.000	4.464	37.719

表3 Q1-2:パソコンは、授業に導入されていますか。

	小(%)	中(%)	高(%)	合計(%)
1.	80(23.1)	312(89.9)	314(78.9)	706(64.7)
2.	267(76.9)	35(10.1)	84(21.1)	386(35.3)
合計	347(100.0)	347(100.0)	398(100.0)	1092(100.0)

カイ2乗値(自由度) 394.95363(2) P = 0.000000

表4 Q2：保健室の仕事に、パソコンを利用していますか。

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	34 (7.8)	36 (9.6)	81 (18.4)	151 (12.0)
2.	106 (24.2)	121 (32.2)	126 (28.6)	353 (28.1)
3.	298 (68.0)	219 (58.2)	233 (53.0)	750 (59.8)
合計	438 (100.0)	376 (100.0)	440 (100.0)	1254 (100.0)

カイ2乗値 (自由度) 36.57753 (4) P = 0.000000

表5 Q3：保健室の仕事に、ワープロを利用していますか。

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	242 (54.5)	219 (59.2)	258 (59.9)	719 (57.8)
2.	131 (29.5)	111 (30.0)	105 (24.4)	347 (27.9)
3.	71 (16.0)	40 (10.8)	68 (15.8)	179 (14.4)
合計	444 (100.0)	370 (100.0)	431 (100.0)	1245 (100.0)

カイ2乗値 (自由度) 8.87103 (4) P = 0.064405

表6 Q4：パソコン・ワープロの設置場所 (主なものを2つ)

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	216 (49.9)	166 (45.0)	114 (27.0)	496 (40.5)
2.	196 (45.3)	172 (46.6)	248 (58.6)	616 (50.3)
3.	25 (5.8)	18 (4.9)	42 (9.9)	85 (6.9)
4.	42 (9.7)	116 (31.4)	110 (26.0)	268 (21.9)
5.	138 (31.9)	95 (25.7)	125 (29.6)	358 (29.2)
6.	34 (7.9)	29 (7.9)	28 (6.6)	91 (7.4)
7.	21 (4.8)	6 (1.6)	12 (2.8)	39 (3.2)
合計	672 (155.2)	602 (163.1)	679 (160.5)	1953 (159.4)
標本数	433	369	423	1225

[Q5～Q11は、Q2の回答が1, 2のみを集計] (利用者)

表7 Q5: パソコンの利用をし始めた理由は何ですか (3つまで)。

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	58 (43. 6)	82 (55. 0)	90 (46. 6)	230 (48. 4)
2.	30 (22. 6)	40 (26. 8)	62 (32. 1)	132 (27. 8)
3.	25 (18. 8)	48 (32. 2)	74 (38. 3)	147 (30. 9)
4.	90 (67. 7)	102 (68. 5)	144 (74. 6)	336 (70. 7)
5.	17 (12. 8)	15 (10. 1)	18 (9. 3)	50 (10. 5)
6.	18 (13. 5)	12 (8. 1)	26 (13. 5)	56 (11. 8)
7.	30 (22. 6)	15 (10. 1)	24 (12. 4)	69 (14. 5)
合計	268 (201. 5)	314 (210. 7)	438 (226. 9)	1020 (214. 7)
標本数	133	149	193	475

表8 Q6-1: ハードディスクの有無

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	74 (64. 3)	91 (72. 2)	108 (61. 7)	273 (65. 6)
2.	41 (35. 7)	35 (27. 8)	67 (38. 3)	143 (34. 4)
合計	115 (100. 0)	126 (100. 0)	175 (100. 0)	416 (100. 0)

カイ2乗値 (自由度) 3.70055 (2) P = 0.157194

表9 Q7: パソコンはどなたの所有ですか。

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	85 (64. 4)	87 (60. 8)	98 (51. 0)	270 (57. 8)
2.	0 (0. 0)	3 (2. 1)	35 (18. 2)	38 (8. 1)
3.	23 (17. 4)	29 (20. 3)	38 (19. 8)	90 (19. 3)
4.	11 (8. 3)	2 (1. 4)	3 (1. 6)	16 (3. 4)
5.	1 (0. 8)	2 (1. 4)	5 (2. 6)	8 (1. 7)
6.	10 (7. 6)	19 (13. 3)	10 (5. 2)	39 (8. 4)
7.	0 (0. 0)	0 (0. 0)	1 (0. 5)	1 (0. 2)
8.	2 (1. 5)	1 (0. 7)	2 (1. 0)	5 (1. 1)
合計	132 (100. 0)	143 (100. 0)	192 (100. 0)	467 (100. 0)

カイ2乗値 (自由度) 67.27142 (14) P = 0.000000

表10 Q8. :主に使っているソフトウェアのジャンル(複数回答)

	小(%)	中(%)	高(%)	合計(%)
1.	87(66.9)	109(73.6)	160(82.5)	356(75.4)
2.	69(53.1)	100(67.6)	136(70.1)	305(64.6)
3.	19(14.6)	28(18.9)	48(24.7)	95(20.1)
4.	83(63.8)	86(58.1)	71(36.6)	240(50.8)
5.	13(10.0)	21(14.2)	30(15.5)	64(13.6)
6.	11(8.5)	17(11.5)	22(11.3)	50(10.6)
7.	28(21.5)	40(27.0)	58(29.9)	126(26.7)
8.	10(7.7)	14(9.5)	23(11.9)	47(10.0)
合計	320(246.2)	415(280.4)	548(282.5)	1283(271.8)
標本数	130	148	194	472

表11 Q9:パソコンは主にどんな仕事に利用されていますか(5つ)。

	小(%)	中(%)	高(%)	合計(%)
1.	111(84.7)	125(87.4)	148(85.1)	384(85.7)
2.	23(17.6)	25(17.5)	51(29.3)	99(22.1)
3.	65(49.6)	71(49.7)	91(52.3)	227(50.7)
4.	38(29.0)	50(35.0)	100(57.5)	188(42.0)
5.	15(11.5)	18(12.6)	29(16.7)	62(13.8)
6.	24(18.3)	29(20.3)	44(25.3)	97(21.7)
7.	28(21.4)	39(27.3)	48(27.6)	115(25.7)
8.	26(19.8)	39(27.3)	62(35.6)	127(28.3)
9.	24(18.3)	27(18.9)	23(13.2)	74(16.5)
10.	12(9.2)	18(12.6)	16(9.2)	46(10.3)
11.	15(11.5)	6(4.2)	13(7.5)	34(7.6)
合計	381(290.8)	447(312.6)	625(359.2)	1453(324.3)
標本数	131	143	174	448

表12 Q10:困ったことが起きた時の相談相手(2つ)

	小(%)	中(%)	高(%)	合計(%)
1.	103(78.6)	138(95.2)	182(94.8)	423(90.4)
2.	29(22.1)	26(17.9)	25(13.0)	80(17.1)
3.	7(5.3)	5(3.4)	3(1.6)	15(3.2)
4.	12(9.2)	17(11.7)	28(14.6)	57(12.2)
5.	12(9.2)	12(8.3)	9(4.7)	33(7.1)
6.	3(2.3)	2(1.4)		5(1.1)
7.	24(18.3)	15(10.3)	24(12.5)	63(13.5)
8.	8(6.1)	4(2.8)	6(3.1)	18(3.8)
合計	198(151.1)	219(151.0)	277(144.3)	694(148.3)
標本数	131	145	192	468

表 1 3 Q11：パソコンの利用による職務の変化（４つ）

	小（％）	中（％）	高（％）	合計（％）
1.	62（47.7）	67（46.5）	93（48.7）	222（47.7）
2.	7（5.4）	10（6.9）	18（9.4）	35（7.5）
3.	48（36.9）	66（45.8）	97（50.8）	211（45.4）
4.	74（56.9）	76（52.8）	117（61.3）	267（57.4）
5.	9（6.9）	9（6.3）	18（9.4）	36（7.7）
6.	15（11.5）	15（10.4）	25（13.1）	55（11.8）
7.	7（5.4）	18（12.5）	24（12.6）	49（10.5）
8.	15（11.5）	21（14.6）	26（13.6）	62（13.3）
9.	9（6.9）	15（10.4）	14（7.3）	38（8.2）
合計	246（189.2）	297（206.3）	432（226.2）	975（209.7）
標本数	130	144	191	465

〔Q 1 2～Q 1 4までは、Q 2 が 3 の回答者のみの集計〕（非利用者）

表 1 4 Q12：パソコンを利用していない理由は何ですか（３つ）

	小（％）	中（％）	高（％）	合計（％）
1.	165（56.1）	146（67.6）	136（59.9）	447（60.7）
2.	140（47.6）	81（37.5）	119（52.4）	340（46.1）
3.	10（3.4）	10（4.6）	37（16.3）	57（7.7）
4.	28（9.5）	26（12.0）	36（15.9）	90（12.2）
5.	80（27.2）	39（18.1）	27（11.9）	146（19.8）
6.	108（36.7）	96（44.4）	88（38.8）	292（39.6）
7.	61（20.7）	52（24.1）	55（24.2）	168（22.8）
8.	14（4.8）	9（4.2）	10（4.4）	33（4.5）
9.	36（12.2）	26（12.0）	29（12.8）	91（12.3）
合計	642（218.4）	485（224.5）	537（236.6）	1664（225.8）
標本数	294	216	227	737

表 1 5 Q13：今後、パソコンを利用するには？（３つ）

	小（％）	中（％）	高（％）	合計（％）
1.	170（58.4）	122（57.0）	116（51.1）	408（55.7）
2.	146（50.2）	122（57.0）	148（65.2）	416（56.8）
3.	24（8.2）	19（8.9）	39（17.2）	82（11.2）
4.	178（61.2）	114（53.3）	110（48.5）	402（54.9）
5.	118（40.5）	104（48.6）	94（41.4）	316（43.2）
6.	42（14.4）	30（14.0）	42（18.5）	114（15.6）
7.	11（3.8）	7（3.3）	11（4.8）	29（4.0）
合計	689（236.8）	518（242.1）	560（246.7）	1767（241.4）
標本数	291	214	227	732

表 1 6 Q14：パソコンが導入されると仕事はどのように変わるか（４つ）

	小（％）	中（％）	高（％）	合計（％）
1.	98（ 33.4）	69（ 32.5）	75（ 33.0）	242（ 33.1）
2.	38（ 13.0）	27（ 12.7）	57（ 25.1）	122（ 16.7）
3.	189（ 64.5）	136（ 64.2）	136（ 59.9）	461（ 63.0）
4.	170（ 58.0）	125（ 59.0）	141（ 62.1）	436（ 59.6）
5.	50（ 17.1）	46（ 21.7）	58（ 25.6）	154（ 21.0）
6.	41（ 14.0）	33（ 15.6）	36（ 15.9）	110（ 15.0）
7.	45（ 15.4）	36（ 17.0）	53（ 23.3）	134（ 18.3）
8.	49（ 16.7）	35（ 16.5）	36（ 15.9）	120（ 16.4）
9.	25（ 8.5）	18（ 8.5）	18（ 7.9）	61（ 8.3）
合計	705（240.6）	525（247.6）	610（268.7）	1840（251.4）
標本数	293	212	227	732

[以下は回答者全員の集計]

表 1 7 Q15：パソコンスクールや講習会などでの勉強（３つ）

	小（％）	中（％）	高（％）	合計（％）
1.	163（ 36.7）	127（ 34.3）	131（ 29.9）	421（ 33.6）
2.	145（ 32.7）	128（ 34.6）	159（ 36.3）	432（ 34.5）
3.	142（ 32.0）	161（ 43.5）	199（ 45.4）	502（ 40.1）
4.	42（ 9.5）	33（ 8.9）	95（ 21.7）	170（ 13.6）
5.	47（ 10.6）	33（ 8.9）	30（ 6.8）	110（ 8.8）
6.	109（ 24.5）	70（ 18.9）	89（ 20.3）	268（ 21.4）
7.	22（ 5.0）	21（ 5.7）	20（ 4.6）	63（ 5.0）
合計	670（150.9）	573（154.9）	723（165.1）	1966（157.0）
標本数	444	370	438	1252

表 1 8 Q16：保健室にパソコンは必要なものと思いますか。

	小（％）	中（％）	高（％）	合計（％）
1.	226（ 50.3）	212（ 57.9）	305（ 69.6）	743（ 59.3）
2.	157（ 35.0）	99（ 27.0）	90（ 20.5）	346（ 27.6）
3.	15（ 3.3）	19（ 5.2）	13（ 3.0）	47（ 3.7）
4.	34（ 7.6）	19（ 5.2）	20（ 4.6）	73（ 5.8）
5.	17（ 3.8）	17（ 4.6）	10（ 2.3）	44（ 3.5）
合計	449（100.0）	366（100.0）	438（100.0）	1253（100.0）

カイ 2 乗値（自由度） 40.901（ 8 ） P = 0.000002

Q17の質問項目別、負担感について

表19 Q17.1：負担感：個別保健・安全指導

	小(%)	中(%)	高(%)	合計(%)
1.	20(4.5)	20(5.5)	28(6.5)	68(5.5)
2.	59(13.2)	65(17.9)	76(17.6)	200(16.1)
3.	132(29.6)	113(31.0)	128(29.6)	373(30.0)
4.	154(34.5)	101(27.7)	127(29.3)	382(30.7)
5.	81(18.2)	65(17.9)	74(17.1)	220(17.7)
合計	446(100.0)	364(100.0)	433(100.0)	1243(100.0)

カイ2乗値(自由度) 8.88787(8) P = 0.351843

表20 Q17.2：負担感：集団保健・安全指導

	小(%)	中(%)	高(%)	合計(%)
1.	38(8.5)	24(6.6)	40(9.2)	102(8.2)
2.	108(24.1)	109(29.9)	126(29.1)	343(27.6)
3.	146(32.6)	117(32.1)	145(33.5)	408(32.8)
4.	111(24.8)	71(19.5)	80(18.5)	262(21.0)
5.	45(10.0)	43(11.8)	42(9.7)	130(10.4)
合計	448(100.0)	364(100.0)	433(100.0)	1245(100.0)

カイ2乗値(自由度) 10.62279(8) P = 0.224002

表21 Q17.3：負担感：救急処置

	小(%)	中(%)	高(%)	合計(%)
1.	20(4.5)	19(5.2)	26(6.0)	65(5.2)
2.	68(15.2)	46(12.5)	70(16.1)	184(14.7)
3.	102(22.8)	104(28.3)	110(25.3)	316(25.3)
4.	129(28.9)	112(30.5)	127(29.3)	368(29.5)
5.	128(28.6)	86(23.4)	101(23.3)	315(25.2)
合計	447(100.0)	367(100.0)	434(100.0)	1248(100.0)

カイ2乗値(自由度) 8.62656(8) P = 0.374771

表22 Q17.4：負担感：保健便り作成

	小(%)	中(%)	高(%)	合計(%)
1.	22(4.9)	22(6.1)	30(7.0)	74(6.0)
2.	113(25.2)	95(26.2)	137(31.9)	345(27.8)
3.	107(23.8)	103(28.5)	118(27.4)	328(26.4)
4.	135(30.1)	86(23.8)	93(21.6)	314(25.3)
5.	72(16.0)	56(15.5)	52(12.1)	180(14.5)
合計	449(100.0)	362(100.0)	430(100.0)	1241(100.0)

カイ2乗値(自由度) 16.80726(8) P = 0.032180

表 2 3 Q17. 5 : 負担感 : 各種の統計処理

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	77 (17. 3)	82 (22. 4)	111 (25. 3)	270 (21. 6)
2.	154 (34. 6)	131 (35. 8)	164 (37. 4)	449 (35. 9)
3.	74 (16. 6)	79 (21. 6)	72 (16. 4)	225 (18. 0)
4.	100 (22. 5)	55 (15. 0)	62 (14. 1)	217 (17. 4)
5.	40 (9. 0)	19 (5. 2)	30 (6. 8)	89 (7. 1)
合計	445 (100. 0)	366 (100. 0)	439 (100. 0)	1250 (100. 0)

カイ 2 乗値 (自由度) 25. 48224 (8) P = 0. 001287

表 2 4 Q17. 6 : 負担感 : 健康情報 (疾病異常等) の管理

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	29 (6. 5)	28 (7. 7)	44 (10. 2)	101 (8. 1)
2.	111 (24. 8)	93 (25. 5)	129 (29. 8)	333 (26. 8)
3.	147 (32. 9)	130 (35. 7)	139 (32. 1)	416 (33. 4)
4.	111 (24. 8)	83 (22. 8)	85 (19. 6)	279 (22. 4)
5.	49 (11. 0)	30 (8. 2)	36 (8. 3)	115 (9. 2)
合計	447 (100. 0)	364 (100. 0)	433 (100. 0)	1244 (100. 0)

カイ 2 乗値 (自由度) 11. 82841 (8) P = 0. 159026

表 2 5 Q17. 7 : 負担感 : 健康診断事後指導

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	19 (4. 3)	33 (9. 0)	76 (17. 5)	128 (10. 2)
2.	126 (28. 2)	113 (30. 8)	151 (34. 7)	390 (31. 2)
3.	146 (32. 7)	118 (32. 2)	109 (25. 1)	373 (29. 9)
4.	105 (23. 5)	76 (20. 7)	74 (17. 0)	255 (20. 4)
5.	51 (11. 4)	27 (7. 4)	25 (5. 7)	103 (8. 2)
合計	447 (100. 0)	367 (100. 0)	435 (100. 0)	1249 (100. 0)

カイ 2 乗値 (自由度) 60. 24223 (8) P = 0. 000000

表 2 6 Q17. 8 : 負担感 : 保健的教育相談

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	18 (4. 1)	23 (6. 3)	36 (8. 3)	77 (6. 2)
2.	78 (17. 6)	74 (20. 3)	100 (23. 1)	252 (20. 3)
3.	190 (42. 8)	121 (33. 2)	146 (33. 7)	457 (36. 8)
4.	109 (24. 5)	102 (28. 0)	103 (23. 8)	314 (25. 3)
5.	49 (11. 0)	44 (12. 1)	48 (11. 1)	141 (11. 4)
合計	444 (100. 0)	364 (100. 0)	433 (100. 0)	1241 (100. 0)

カイ 2 乗値 (自由度) 18. 21438 (8) P = 0. 019675

表 2 7 Q17. 9 : 負担感 : 環境衛生管理

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	23 (5. 2)	9 (2. 5)	35 (8. 1)	67 (5. 4)
2.	129 (28. 9)	95 (26. 0)	108 (25. 1)	332 (26. 8)
3.	183 (41. 0)	161 (44. 1)	182 (42. 3)	526 (42. 4)
4.	88 (19. 7)	78 (21. 4)	79 (18. 4)	245 (19. 7)
5.	23 (5. 2)	22 (6. 0)	26 (6. 0)	71 (5. 7)
合計	446 (100. 0)	365 (100. 0)	430 (100. 0)	1241 (100. 0)

カイ 2 乗値 (自由度) 14. 87063 (8) P = 0. 061710

表 2 8 Q17. 10 : 負担感 : 保健委員会などの組織活動

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	54 (12. 1)	45 (12. 3)	65 (15. 3)	164 (13. 3)
2.	155 (34. 8)	128 (35. 1)	146 (34. 4)	429 (34. 7)
3.	132 (29. 6)	116 (31. 8)	122 (28. 7)	370 (29. 9)
4.	78 (17. 5)	50 (13. 7)	66 (15. 5)	194 (15. 7)
5.	27 (6. 1)	26 (7. 1)	26 (6. 1)	79 (6. 4)
合計	446 (100. 0)	365 (100. 0)	425 (100. 0)	1236 (100. 0)

カイ 2 乗値 (自由度) 4. 97031 (8) P = 0. 760744

表 2 9 Q17. 11 : 負担感 : 保健行事の計画・立案

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	32 (7. 2)	24 (6. 6)	35 (8. 1)	91 (7. 3)
2.	118 (26. 4)	127 (34. 7)	143 (32. 9)	388 (31. 1)
3.	150 (33. 6)	116 (31. 7)	139 (32. 0)	405 (32. 5)
4.	103 (23. 0)	73 (19. 9)	87 (20. 0)	263 (21. 1)
5.	44 (9. 8)	26 (7. 1)	30 (6. 9)	100 (8. 0)
合計	447 (100. 0)	366 (100. 0)	434 (100. 0)	1247 (100. 0)

カイ 2 乗値 (自由度) 10. 22973 (8) P = 0. 249271

表 3 0 Q17. 12 : 負担感 : 担任連絡

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	6 (1. 3)	2 (0. 5)	14 (3. 2)	22 (1. 8)
2.	51 (11. 4)	57 (15. 6)	65 (15. 0)	173 (13. 9)
3.	144 (32. 2)	143 (39. 1)	175 (40. 5)	462 (37. 1)
4.	152 (34. 0)	108 (29. 5)	115 (26. 6)	375 (30. 1)
5.	94 (21. 0)	56 (15. 3)	63 (14. 6)	213 (17. 1)
合計	447 (100. 0)	366 (100. 0)	432 (100. 0)	1245 (100. 0)

カイ 2 乗値 (自由度) 26. 97128 (8) P = 0. 000715

調査集計表

表 Q17.13：負担感：保健以外の校務事務

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	56 (12.7)	41 (11.3)	38 (9.0)	135 (11.0)
2.	130 (29.4)	102 (28.2)	75 (17.9)	307 (25.1)
3.	144 (32.6)	111 (30.7)	133 (31.7)	388 (31.7)
4.	80 (18.1)	69 (19.1)	99 (23.6)	248 (20.3)
5.	32 (7.2)	39 (10.8)	75 (17.9)	146 (11.9)
合計	442 (100.0)	362 (100.0)	420 (100.0)	1224 (100.0)

カイ2乗値 (自由度) 40.73565 (8) P = 0.000002

表 Q17.14：負担感：その他

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	11 (23.9)	11 (20.0)	10 (20.8)	32 (21.5)
2.	4 (8.7)	11 (20.0)	6 (12.5)	21 (14.1)
3.	12 (26.1)	21 (38.2)	21 (43.8)	54 (36.2)
4.	9 (19.6)	8 (14.5)	6 (12.5)	23 (15.4)
5.	10 (21.7)	4 (7.3)	5 (10.4)	19 (12.8)
合計	46 (100.0)	55 (100.0)	48 (100.0)	149 (100.0)

カイ2乗値 (自由度) 9.92194 (8) P = 0.270547

表 Q18：現在行っている仕事以上の仕事

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1.	158 (38.1)	149 (44.9)	208 (50.9)	515 (44.6)
2.	257 (61.9)	183 (55.1)	201 (49.1)	641 (55.4)
合計	415 (100.0)	332 (100.0)	409 (100.0)	1156 (100.0)

カイ2乗値 (自由度) 13.64717 (2) P = 0.001088

●以下の集計は、【Q 2. 保健室の仕事に、パソコンを利用していますか】に対して、「3. 利用していない」と回答したもので、かつ、【Q 1 6. 保健室にパソコンは必要と思いますか】に対して、

「1. 必要と思う」と回答したもののみの集計結果。

Q12. パソコンを利用していない理由は何ですか（3つまで）

	小(%)	中(%)	高(%)	合計(%)
1. パソコンの使い方がわからない	58 (50. 4)	67 (72. 0)	76 (61. 8)	201 (60. 7)
2. 手近にパソコンがない	60 (52. 2)	43 (46. 2)	79 (64. 2)	182 (55. 0)
3. 保健室でのパソコン利用に学校が協力的でない	6 (5. 2)	5 (5. 4)	27 (22. 0)	38 (11. 5)
4. パソコンを使っても仕事が改善されと思わない	3 (2. 6)	5 (5. 4)	7 (5. 7)	15 (4. 5)
5. 児童・生徒数が少ないのでパソコンを利用するメリットが少ない	19 (16. 5)	10 (10. 8)	8 (6. 5)	37 (11. 2)
6. パソコンを利用する余裕がない	48 (41. 7)	44 (47. 3)	53 (43. 1)	145 (43. 8)
7. 機械類は苦手である	19 (16. 5)	17 (18. 3)	16 (13. 0)	52 (15. 7)
8. 以前利用していたが、今はやめた	3 (2. 6)	4 (4. 3)	4 (3. 3)	11 (3. 3)
9. その他	19 (16. 5)	12 (12. 9)	17 (13. 8)	48 (14. 5)
合計	235 (204. 3)	207 (222. 6)	287 (233. 3)	729 (220. 2)
標本数	115	93	123	331

Q13. 今後、保健室の仕事にパソコンを利用するためにはどうすればいいでしょうか（3つまで）

	小(%)	中(%)	高(%)	合計(%)
1. パソコンの使い方を教えてほしい	78 (67. 8)	58 (62. 4)	73 (59. 3)	209 (63. 1)
2. 保健室にパソコンを設置してほしい	79 (68. 7)	66 (71. 0)	97 (78. 9)	242 (73. 1)
3. 保健室のパソコン利用に学校が協力的であってほしい	12 (10. 4)	11 (11. 8)	25 (20. 3)	48 (14. 5)
4. 必要なソフトを準備してほしい	82 (71. 3)	55 (59. 1)	63 (51. 2)	200 (60. 4)
5. パソコンの講習会を開いてほしい	48 (41. 7)	50 (53. 8)	52 (42. 3)	150 (45. 3)
6. 特に利用したいとは思わない	1 (0. 9)	0	5 (4. 1)	6 (1. 8)
7. その他	2 (1. 7)	2 (2. 2)	5 (4. 1)	9 (2. 7)
合計	302 (262. 6)	242 (260. 2)	320 (260. 2)	864 (261. 0)
標本数	115	93	123	331

Q14. 保健室にパソコンが導入されると、仕事はどのように変わるとおもいますか（4つまで）

	小(%)	中(%)	高(%)	合計(%)
1. 仕事が便利で楽になるだろう	55 (47. 8)	44 (47. 3)	53 (43. 4)	152 (46. 1)
2. 面倒な仕事が増えるだろう	9 (7. 8)	5 (5. 4)	20 (16. 4)	34 (10. 3)
3. これまでできなかった仕事ができるようになるだろう	88 (76. 5)	69 (74. 2)	83 (68. 0)	240 (72. 7)
4. 仕事が効率的になるだろう	88 (76. 5)	73 (78. 5)	94 (77. 0)	255 (77. 3)
5. 仕事が画一的になるだろう	13 (11. 3)	13 (14. 0)	23 (18. 9)	49 (14. 8)
6. 時間のゆとりができるだろう	30 (26. 1)	22 (23. 7)	31 (25. 4)	83 (25. 2)
7. 忙しくなるだろう	13 (11. 3)	11 (11. 8)	18 (14. 8)	42 (12. 7)
8. あまり変わらないだろう	11 (9. 6)	10 (10. 8)	11 (9. 0)	32 (9. 7)
9. その他	5 (4. 3)	7 (7. 5)	5 (4. 1)	17 (5. 2)
合計	312 (271. 3)	254 (273. 1)	338 (277. 0)	904 (273. 9)
標本数	115	93	122	330

調査集計表

●以下の集計は、【Q 2. 保健室の仕事に、パソコンを利用していますか】に対して、「3. 利用していない」と回答したもので、かつ、【Q 1 6. 保健室にパソコンは必要と思いますか】に対して、「3. 必要と思わない」と回答したもののみの集計結果。

Q12. パソコンを利用していない理由は何ですか（3つまで）

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1. パソコンの使い方がわからない	5 (41. 7)	6 (40. 0)	2 (22. 2)	13 (36. 1)
2. 手近にパソコンがない	4 (33. 3)	1 (6. 7)	2 (22. 2)	7 (19. 4)
3. 保健室でのパソコン利用に学校が協力的でない	1 (8. 3)	0	0	1 (2. 8)
4. パソコンを使っても仕事が改善されと思わない	5 (41. 7)	7 (46. 7)	7 (77. 8)	19 (52. 8)
5. 児童・生徒数が少ないのでパソコンを利用するメリットが少ない	7 (58. 3)	3 (20. 0)	4 (44. 4)	14 (38. 9)
6. パソコンを利用する余裕がない	3 (25. 0)	6 (40. 0)	2 (22. 2)	11 (30. 6)
7. 機械類は苦手である	4 (33. 3)	5 (33. 3)	2 (22. 2)	11 (30. 6)
8. 以前利用していたが、今はやめた	0	1 (6. 7)	0	1 (2. 8)
9. その他	2 (16. 7)	4 (26. 7)	2 (22. 2)	8 (22. 2)
合計	31 (258. 3)	33 (220. 0)	21 (233. 3)	85 (236. 1)
標本数	12	15	9	36

Q13. 今後、保健室の仕事にパソコンを利用するためにはどうすればいいでしょうか（3つまで）

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1. パソコンの使い方を教えてほしい	2 (16. 7)	4 (26. 7)	2 (22. 2)	8 (22. 2)
2. 保健室にパソコンを設置してほしい	0	4 (26. 7)	3 (33. 3)	7 (19. 4)
3. 保健室のパソコン利用に学校が協力的であってほしい	0	0	0	0
4. 必要なソフトを準備してほしい	1 (8. 3)	6 (40. 0)	4 (44. 4)	11 (30. 6)
5. パソコンの講習会を開いてほしい	2 (16. 7)	5 (33. 3)	3 (33. 3)	10 (27. 8)
6. 特に利用したいとは思わない	10 (83. 3)	9 (60. 0)	6 (66. 7)	25 (69. 4)
7. その他	1 (8. 3)	3 (20. 0)	0	4 (11. 1)
合計	16 (133. 3)	31 (206. 7)	18 (200. 0)	65 (180. 6)
標本数	12	15	9	36

Q14. 保健室にパソコンが導入されると、仕事はどのように変わりますか（4つまで）

	小 (%)	中 (%)	高 (%)	合計 (%)
1. 仕事が便利で楽になるだろう	0	3 (20. 0)	1 (2. 8)	4 (11. 1)
2. 面倒な仕事が増えるだろう	3 (25. 0)	6 (40. 0)	1 (11. 1)	14 (38. 9)
3. これまでできなかった仕事ができるようになるだろう	2 (16. 7)	4 (26. 7)	5 (55. 6)	8 (22. 2)
4. 仕事が効率的になるだろう	1 (8. 3)	3 (20. 0)	2 (22. 2)	5 (13. 9)
5. 仕事が画一的になるだろう	4 (33. 3)	7 (46. 7)	1 (11. 1)	15 (41. 7)
6. 時間のゆとりができるだろう	0	1 (6. 7)	4 (44. 4)	1 (2. 8)
7. 忙しくなるだろう	3 (25. 0)	3 (20. 0)	4 (44. 4)	10 (27. 8)
8. あまり変わらないだろう	5 (41. 7)	5 (33. 3)	4 (44. 4)	14 (38. 9)
9. その他	2 (16. 7)	2 (13. 3)	1 (11. 1)	5 (13. 9)
合計	20 (166. 7)	34 (226. 7)	22 (244. 4)	76 (211. 1)
標本数	12	15	9	36

※標本数が少ないため資料は参考程度にしていきたい。

保健室におけるパソコン等の 設置状況と活用に関する調査

お願い

この調査の主旨は別紙にも述べました様に、全国の小・中・高等学校の保健室におけるパソコン等の設置・活用の現状を把握しようとするものです。

この調査の結果は全て統計的に処理されますから、
秘密は守られ個人のデータとして漏れることは決して
ありません。

質問には、現状をありのまま回答して下さいようお願い致します。

回答後、返信封筒に入れ **3月15日**までに投函して下さい
 下さいますようお願いいたします。

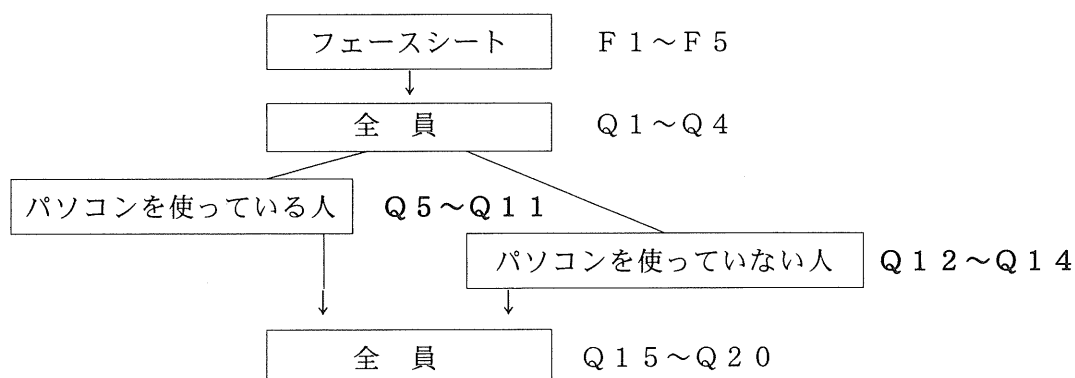
平成 6 年 2 月

(財) 日本学校保健会

学校保健情報の処理と活用委員会

--	--	--	--	--	--

- 回答は、各選択肢の番号を○で囲み、右側 の中には何も書かないで下さい。
- ご回答していただく設問は、パソコンを利用されているか、いないかによって異なります。以下のようにご回答下さい。（異なる部分：太字質問番号）



整理番号

あなたご自身のことについてお尋ねします (全員)

F 1. 勤務地の所在地 () 都道府県

--	--

F 2. 学校の種別

1. 小学校 2. 中学校 3. 高等学校・全日制 4. 高等学校・定時制

--

9

F 3. 学校規模・・・児童・生徒数 () 名

--	--	--	--

F 4. 養護教諭としての勤続年数 () 年

年 齢 () 歳

17

F 5. 取得している免許、全てに○をつけて下さい。

1. 養護教諭 1 種 2. 養護教諭 2 種 3. 小学校教諭

4. 中学校教諭 (教科) 5. 高等学校教諭 (教科)

6. 保健婦 7. 看護婦 8. その他 ()

--	--	--	--

21

--

22

パソコン等の利用状況についてお尋ねします (全員)

(あてはまる問いだけお答え下さい)

Q 1. あなたの学校は、パソコンの導入に積極的ですか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない 4. わからない

5. その他 ()

--

23

Q 1-1. あなたの学校ではパソコンを何台利用していますか。 () 台

Q 1-2. それらのパソコンは、授業に導入されていますか。

1. はい 2. いいえ

--	--	--

--

Q 2. あなたは保健室の仕事に、パソコンを利用していますか。

1. いつも利用している 2. 時には利用することもある

3. 利用していない

--

Q 2-1. パソコンを利用している人は、使いはじめて何年になりますか

() 年

--	--

30

Q 3. あなたは保健室の仕事に、ワープロを利用していますか。

1. いつも利用している 2. 時には利用することもある 3. 利用していない

Q 3-1. ワープロを利用している人は、使いはじめて何年になりますか

() 年

--	--

Q 4. そのパソコン・ワープロはどこに設置されていますか。(主なものを2つ)

1. 職員室 2. 保健室 3. 事務室 4. パソコン室 5. 自宅

6. その他 () 7. 使用していない

--	--

35

整理番号

Q 5～Q 11 には、パソコンを利用されている方のみお答え下さい。

Q 5. パソコンの利用をし始めた理由は何ですか。該当するものを3つまで選んでください。

1. 手近にパソコンが利用できた。
2. 校内の人に薦められた。
3. 学校全体がパソコン利用を促進していた。
4. パソコンを使って仕事が改善できると思った。
5. パソコンを利用する余裕があった。
6. パソコンや機械が好きだった。
7. その他 ()

38

Q 6. 現在、お使いのパソコンの機種は何ですか。メーカーと機種名をできるだけ詳しく書いてください。(複数台使用の場合は主なものを回答してください。また、この記載を元に当方で分類を行いますので、機種等がお分かりにならない場合は、周りの詳しい方に聞いてお答えください。)

メーカー名 機 種

- ① () ()
- ② () ()
- 記入例 (NEC) (PC9821 As2/U2)
- (アップル) (Macintosh LC520)

Q 6-1 そのパソコンにはハードディスク(固定ディスク)が内蔵または外付けされていますか。
また、その総容量はおよそどのくらいですか。

1. ハードディスクがある。(総容量は約_____メガバイト)
2. ハードディスクはない。(フロッピーディスクだけで使っている。)

Q 7. 現在、お使いのパソコンはどなたの所有ですか。

1. 学校共有備品 2. 保健室用備品 3. 個人所有 4. レンタル備品
5. その他 (_____)

--

48

Q 8. 現在、主に使っているソフトウェアのジャンル名(数字)とソフト名(英字)を下の中から選択してください。(複数回答可)

1. ワープロソフト (A. 一太郎 B. 松 C. その他 ())
2. 表計算ソフト (A. Lotus123 B. マルチプラン C. エクセル D. その他 ())
3. データベースソフト (A. 桐 B. The Card C. 忍者 D. その他 ())
4. 学校保健ソフト (A. 若竹 B. すこやか C. えがお D. その他 ())
5. 言語ソフト (A. BASIC B. その他 ())
6. ユーティリティ (A. エコロジー B. MIFES C. VZエディター D. その他 ())
7. OS (A. MS-DOS B. MS-Windows C. 漢字トーク7 D. その他 ())
8. その他 ())

73

Q 9. パソコンは、主にどんな仕事に利用されていますか。

該当するものを5つまで選んで下さい。

1. 学校保健統計 2. 健康情報(保健調査)の管理
3. 健康診断の事後指導 4. 保健室利用状況
5. 学校事故の統計処理 6. 生活実態調査、アンケート集計等
7. 保健便り 8. 担任及び関係職員への連絡
9. 保健以外の校務事務 10. 自分の研究活動
11. その他 (_____)

83

Q 1 0. パソコンの利用に際して困ったことが起きた時、主にどこに相談していますか。(2つまで)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 同じ学校内の先生 | 2. 他校の養護教諭 |
| 3. 公共の教育研修センター等 | 4. 家族 |
| 5. 業者(ソフトハウス) | 6. パソコン通信やパソコン仲間 |
| 7. 自分で勉強する | 8. その他() |

Q 1 1. パソコンを利用することにより職務がどう変化したと思いますか。

該当するものを4つまで 選んでください。

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. 仕事が便利で楽になった。 | 2. 面倒な仕事が増えた。 |
| 3. これまでできなかった仕事ができるようになった。 | |
| 4. 仕事が効率的になった。 | 5. 仕事が画一的になった。 |
| 6. 時間のゆとりができた。 | 7. 忙しくなった。 |
| 8. あまり変わらなかった。 | 9. その他() |

89

Q 1 2～Q 1 4には、パソコンを利用されていない方のみお答え下さい。

Q 1 2. パソコンを利用していない理由は何ですか。該当するものを3つまで選んで下さい。

- | | |
|-----------------------------------|----------------|
| 1. パソコンの使い方がわからない。 | 2. 手近にパソコンがない。 |
| 3. 保健室でのパソコン利用に学校が協力的でない。 | |
| 4. パソコンを使っても仕事が改善されるとは思わない。 | |
| 5. 児童・生徒数が少ないのでパソコンを利用するメリットが少ない。 | |
| 6. パソコンを利用する余裕がない。 | |
| 7. 機械類は苦手である。(利用したくない) | |
| 8. 以前利用していたが、今はやめた | |
| 9. その他() | |

Q 1 3. 今後、保健室の仕事にパソコンを利用するためにどうすればいいでしょうか。

該当するものを3つまで選んで下さい。

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. パソコンの使い方を教えてほしい。 | 2. 保健室にパソコンを設置してほしい。 |
| 3. 保健室のパソコン利用に学校が協力的であってほしい。 | |
| 4. 必要なソフトを準備してほしい。 | 5. パソコンの講習会を開いてほしい。 |
| 6. 特に利用したいとは思わない | 7. その他() |

85

Q 1 4. 保健室にパソコンが導入されると、仕事はどのように変わると思いますか。

該当するものを4つまで選んでください。

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 仕事が便利で楽になるだろう。 | 2. 面倒な仕事が増えるだろう。 |
| 3. これまでできなかった仕事ができるようになるだろう。 | |
| 4. 仕事が効率的になるだろう。 | 5. 仕事が画一的になるだろう。 |
| 6. 時間のゆとりができるだろう。 | 7. 忙しくなるだろう。 |
| 8. あまり変わらないだろう。 | 9. その他() |

99

整理番号

Q 1 5～Q 2 0 は、全員の方がお答え下さい。

Q 1 5. 今までに、パソコンスクールや講習会などで勉強したことがありますか。

該当するものを3つまで選んで下さい。

1. スクールや講習会などで勉強したことがある。
2. 養護教諭の実技研修で勉強したことがある。
3. 同僚、友人から教わったことがある。
4. 自分で本を買って勉強したことがある。
5. 学生時代に勉強したことがある。
6. パソコンの勉強などしたことがない。
7. その他 ()

Q 1 6. 保健室にパソコンは必要なものと思いますか。

1. 必要と思う
2. どちらともいえない
3. 必要とは思わない
4. わからない
5. その他 ()

--

103

Q 1 7. あなたは、仕事の領域の中でそれぞれの負担感の該当する程度を番号に○をつけてください。

とても 1 2 3 4 5
負担を感じる 感じる でもない 感じない 感じない

1. 個別保健・安全指導	[	1	2	3	4	5	]	1	
2. 集団保健・安全指導	[	1	2	3	4	5	]	2	
3. 救急処置	[	1	2	3	4	5	]	3	
4. 保健便り作成	[	1	2	3	4	5	]	4	
5. 各種の統計処理	[	1	2	3	4	5	]	5	
6. 健康情報（疾病異常等）の管理	[	1	2	3	4	5	]	6	
7. 健康診断事後指導	[	1	2	3	4	5	]	7	
8. 保健的教育相談	[	1	2	3	4	5	]	8	
9. 環境衛生管理	[	1	2	3	4	5	]	9	
10. 保健委員会などの組織活動	[	1	2	3	4	5	]	10	
11. 保健行事の計画・立案	[	1	2	3	4	5	]	11	
12. 担任連絡	[	1	2	3	4	5	]	12	
13. 保健以外の校務事務	[	1	2	3	4	5	]	13	
14. その他 ()	[	1	2	3	4	5	]	14	

117

Q 1 8. 現在、行っている仕事以上に取り組まなければならないと考えている仕事はありますか。

1. ある その内容 ()
2. 別がない

--

118

次の頁にもおこたえ下さい

パソコン実態調査の内容

Q19. コンピュータについて次のような意見があります。あなたはそれらに対してどれくらい賛成ですか。当てはまる程度の番号に○をつけて下さい。

大いに 賛成 1	賛成 2	どちらと言えば 賛成 3	どちらとも言えない 4	どちらかと言えば 反対 5	反対 6	大いに 反対 7
----------------	---------	--------------------	----------------	---------------------	---------	----------------

1. 子どもの頃から学校や家庭でどんどん
コンピュータに触れさせたほうがよい。 [1 2 3 4 5 6 7] 1
2. コンピュータが普及してくると、住み
にくい世の中になるだろう。 [1 2 3 4 5 6 7] 2
3. コンピュータの可能性はほとんど無限
と言ってよい。 [1 2 3 4 5 6 7] 3
4. コンピュータを扱うことは男性の方が
得意である。 [1 2 3 4 5 6 7] 4
5. 子どもの悩みの相談に応じるコ ンピュータ
システムができれば使ってみたい。 [1 2 3 4 5 6 7] 5
6. コンピュータを生活の様々な面で使っ
てみたい。 [1 2 3 4 5 6 7] 6
7. コンピュータのような機械はとても
自分には使いこなせない。 [1 2 3 4 5 6 7] 7

125

Q20 保健室のパソコン利用について、ご意見がありましたら
何でも結構ですから、お書き下さい。

ご協力ありがとうございました

★この調査の結果をご希望の場合は、下記の宛名ラベルをコピーし、
送り先を明記の上、はがきで4月末までに申し込んで下さい。

〒105
東京都港区虎ノ門2-3-13
第18森ビル2号館8F
(財)日本学校保健会
学校保健情報の処理と活用委員会 宛

この報告書は、下記の委員会において作成した。

財団法人 日本学校保健会 学校保健情報処理と活用研究委員会

委員長	江 口 篤 寿	筑波大学名誉教授
	市 村 國 夫	常磐大学短期大学部助教授
	采 女 智津江	群馬県教育委員会保健体育課主幹兼指導主事
	片 江 美智子	東京都立富士高等学校養護教諭
	柴 若 光 昭	東京大学教育学部助教授
	鈴 木 喜久子	横浜市立鴨中山中学校養護教諭
	高 木 廣 文	文部省統計数理研究所助教授
	田 中 千恵子	東京学芸大学附属小金井小学校養護教諭
	辻 立 世	大阪府立鳥飼高等学校養護教諭

なお、本報告書の作成にあたり文部省体育局学校健康教育課教科調査官三木とみ子のほか、下記の方々からご指導とご助言をいただきました。

石 川 哲 也	文部省体育局体育官
戸 田 芳 雄	文部省体育局学校健康教育課教科調査官
今 村 知 明	文部省体育局学校健康教育課専門員